



【青山貞一全訳】 タッカー・カールソンによるプーチン大統領へのインタビュー



Earthbound Now
2024年2月14日 18:25

原文

<https://eritokyo.jp/independent/Ukraines-war-situation-aow4561.htm>

転載

ウクライナ、北部軍管区、NATO：プーチン大統領のカールソンインタビューからの主な事柄
TVC（テレビ局）

ロシア語翻訳：青山貞一（東京都市大学名誉教授）

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領がアメリカ人ジャーナリストのタッカー・カールソン氏にインタビューした©プール

InoSMI の資料には外国メディアのみによる評価が含まれており、InoSMI 編集チームの立場は反映されていない。

本稿はタッカー・カールソンのTCN（英語版）→InoSMI(ロシア語版)→青山貞一（日本語版）であり、本文中の写真はInoSMIが挿入したものであり、インタビューと関係する場合もあれば挿絵的な場合もある。また歴史部分の絵地図はyoutubeの「ロシアの歴史完全版」から、さらに訳注は※注として訳者

が出典を明記しいれた。

※注：本文中の黄色文字は、タッカー・カールソン氏の発言部分である。

本文

ウラジーミル・プーチン大統領のタッカー・カールソン氏とのインタビューは、プラットフォームXなどで1億5千万回以上の再生回数を記録した。大統領はジャーナリストに、ロシアとウクライナの関係の歴史、特別作戦の理由、現在の紛争の見通しについて語った。

タッカー・カールソン: ウラ

ジーミル・プーチンとのインタビューは、2月6日に私のすぐ後ろのクレムリンの建物で録音された。ご覧のとおり、その主なテーマはウクライナで現在進行中の紛争である。

※注：タッカー・マクニア・カールソン略歴

1969年5月16日（54歳）、カリフォルニア州サンフランシスコ
生まれ、出身校 トリニティ・カレッジ（学士）、職業 討論番
組司会、コメンテーター、コラムニスト
配偶者 スーザン・アンドリュース、子供 4人
親 ディック・カールソン、リサ・マクニア・ロンバルディ

※注：ウラジーミル・プーチン Владимир Путин略歴

誕生 1952年10月7日、72歳
出身地 レニングラード市（現サンクトペテルブルク市）
学歴 1975年 レニングラード国立大学法学部卒業
第2・4代 大統領、2000年5月7日 - 2008年5月7日
2012年5月7日 - 現職、ロシア連邦軍 第2・4代 最高司令官
2000年5月7日 - 2008年5月7日 2012年5月7日 - 現職
配偶者 リュドミラ・プーチナ (1983年7月 - 2013年6月)
子女 2人、宗教 キリスト教 ロシア正教会
所属組織 KGB、FSB（連邦保安庁）
最終階級 KGB中佐、FSB大佐
指揮 連邦保安庁長官、最高司令官
c f Wikipedia

紛争がどのように始まり、何が起きているのか、そして最も重要なことに、紛争がどのように終わるのかということである。一つ注意したいことがある。一番最初に、私たちは最も燃えるような質問をした。「なぜこんなことをしたのか？」 物理的な意味で差し迫った脅威を感じたか？

その答えは私たちを驚かせた。プーチン大統領は9世紀以来のロシアの歴史についての議論を始めた。正直に言うと、私たちには、これは気を紛らわせるために行われているようにさえ見えた。私は彼の話を何度かさえぎったが、彼もまた、邪魔されたことにイライラしていた。しかし、最終的に私たちは、これは決して会話をそらそうとしたものではないという結論に達した。

インタビューに時間枠はなく、丸々2時間話し続けた。あなたがそれに同意するかどうかは別として、言われたことはすべて私たちには誠実に思えた。ウラジーミル・プーチン大統領は、ロシアには

ウクライナの一部地域に対する歴史的権利があると信じている。したがって、これは誠実な意見の表明であると考えられるべきであるとする。

この前置きの後、インタビューそのものに進む。

—大統領、ありがとうございます。2022年2月24日、ウクライナで紛争が始まった際、あなたは自分の国と国民に向けて演説した。あなたは、NATOの助けがあれば米国は奇襲攻撃、つまりあなたの国への攻撃を開始できるという結論に達したために行動していると述べた。アメリカ人にとって、これはパラノイアのようなものである。なぜアメリカはロシアに予期せぬ打撃を与えることができると思うのか？ どのようにしてこの結論に達したか？

ウラジーミル・プーチン:

重要なのは、アメリカがロシアに予期せぬ打撃を与えようとしていたということではない。私は決してそうは言っていない。私たちはトークショーをしているのか、それとも真剣な会話をしているか？

- これは素晴らしい引用である。ありがとう。私たちは真剣な話し合いをしている。

——私の知る限りでは、歴史の基礎教養はあるね。

- はい。

- それでは、30秒か1分だけですが、歴史的背景について少しお話しさせていただくが、よろしいですか？

※注：30秒か1分だけの歴史的背景は、結局30分近くに及んだ。

- もちろんお願いします。

—見て欲しい、私たちとウクライナの関係はどのように始まったのか、それはどこから来たのか、ウクライナ？

ロシア国家は中央集権国家として集まり始めた。これはロシア国家創設の年（※注：西暦862年）と考えられている。

出典：ロシアの歴史完全版 第一章

- 862年、ノヴゴロド人（国の北西部にノヴゴロド市がある）がスカンジナビアからリューリック王子を招待した。ヴァリャーグ人から統治するために。1862年、ロシアは建国1000周年を祝い、ノヴゴロドには建国1000周年を記念した記念碑がある。

※注：ノヴゴロド（ロシア語: Новгород [ˈnɒvgəɾət]）

ロシアの北西連邦管区、ノヴゴロド州の州都。人口は21万人。イリメニ湖とそこから流れ出るヴォルホフ川に沿って位置する。ロシア最古の都市であり、中世のノヴゴロド公国の首都であった。1992年に「ノヴゴロドと周辺の文化財」としてユネスコの世界遺産に登録された。地名を訳すと「新しい土地」の意になり、ロシア国内には同名の都市が複数あるため、1998年以降の公式名称は大ノヴゴロド（ヴェリーキー・ノヴゴロド）である。

他の「ノヴゴロド」で有名なのはニジニ・ノヴゴロド（旧ゴーリキ
ー）である。cf. Wikipedia

ドイツのエッセンモーターショーに出展 - InoSMI、1920年、2024年2月8日
ワシントン・ポスト アメリカ合衆国
報道ビジネスに対する本当の脅威は人工知能です 2024年2月8日

882年、リューリクの後継者であるオレグ王子は実質的にリューリクの幼い息子の摂政を務め、リューリクはこの時まで亡くなっていたが、キーウに来た。彼は明らかにかつてリューリクのチームのメンバーだった二人の兄弟を権力の座から外し、こうしてロシアは発展を始め、キーウとノヴゴロドに二つのセンターを構えた。

※注：リューリク（古東スラブ語: Рюрикъ）

862年にラドガ（現在のロシア連邦・スタラヤ・ラドガの
辺り）を支配し、ノヴゴロドを建設したとされる、ルーシ
の最初の首長である。リューリクの後裔は、キーウ・
ルーシから16世紀のロシア・ツァーリ国に至るまで、公、
大公、ツァーリなど支配者として君臨した（リューリク朝）。
後世に同名の君主があるため、リューリク1世とも呼ば
れる。cf. Wikipedia

ロシアの歴史の中で非常に重要な日付は 988 年である。これは、リューリクの曾孫であるウラジミール王子がルーシに洗礼を受け、正統派、つまり東方キリスト教を受け入れたときのルーシの洗礼である。

出典：ロシアの歴史完全版 第一章

その時から、ロシアの中央集権国家は強化され始めた。なぜ？単一の領土、単一の経済関係、単一の言語、そしてルーシの洗礼後 - 単一の信仰と王子の権力。ロシアの中央集権国家が形を作り始めた。

しかし、さまざまな理由から、賢人やロスラフによる王位継承の導入後、少し後に彼が亡くなった後、王位継承は複雑になり、直接には渡されなかった。父親から長男へ、しかし故人から兄へ、そして息子たちへ、さまざまな線で王子の人生が伝えられた。これらすべてがルーシの断片化につながり、単一の国家として形をとり始めた。これは特別なことではなく、ヨーロッパでも同じことが起こった。

しかし、分裂したロシア国家は、かつてチングス・ハーンが築いた帝国の格好の餌食となった。彼の後継者であるバトウ・カーンはルーシに来て、ほぼすべての都市を略奪し、破壊した。ちなみに、キーウが他のいくつかの都市があった南部は、単に独立を失い、北部の都市は主権の一部を保持した。彼らは大群に敬意を表したが、主権の一部は保持していた。そして、モスクワを中心とする単一のロシア国家が形成され始めた。

キーウの独立記念日を祝う軍事パレード中の英国兵士 - InoSMI、1920年、2024/02/08

サン イギリス

ウクライナ兵がプーチンから我々を守らなければならないなら、神よ英国を助けてください 2024年
2月8日

キーウを含むロシアの南部は、別の「磁石」、つまりヨーロッパで形成されつつある中心部に徐々に引き寄せられ始めた。ここはリトアニア大公国であった。ロシア人がこの国家のかなりの部分を占め

ていたため、リトアニア・ロシアとも呼ばれた。彼らは古ロシア語を話し、正統派であった。

その後、リトアニア大公国とポーランド王国の統合という統一が起こった。数年後、精神的な領域で別の統一が締結され、一部の正教会の司祭は教皇の権威に服従した。したがって、これらの土地はポーランド・リトアニア国家の一部となった。

しかし、ポーランド人は何十年もの間、この地域の人口のポーランド化に取り組んできた。彼らはそこに自分たちの言語を導入し、彼らは完全にロシア人ではなく、辺境に住んでいるからウクライナ人であるという考えを導入し始めた。

当初、「ウクライナ人」という言葉は、国の郊外、つまり「端」に住んでいる人、または実際に国境警備に従事している人を意味していた。それは特定の民族集団を意味するものではなかった。

出典：ロシアの歴史完全版 第一章

そこでポーランド人は磨き上げるためにあらゆる手を尽くし、原則としてロシアの土地のこの部分を、残酷ではないにしてもかなり厳しく扱った。これらすべてが、ロシアの土地のこの地域が彼らの権利のために戦い始めたという事実につながった。そして彼らはワルシャワに手紙を書き、自分たちの権利が尊重され、人々がキーウを含むここに送られるよう要求した。

...

- それは何年のうちのいつのことか？

——それは13世紀のことであった。混乱のないように、次に何が起こったのか、日付を示して説明する。

そして、それより少し前の1654年に、ロシアの土地のこの地域で権力を握っていた人々がワルシャワに向かい、ロシア出身で正教の信仰を持つ人々をワルシャワに送るよう要求した。そして、ワルシャワが原則として彼らに何も答えず、これらの要求を実質的に拒否したとき、彼らはモスクワに彼らを受け入れてもらうためにモスクワに目を向け始めた。

私が何か思いついたと思われぬように、この書類をお渡しする。

...

- いいえ、でっち上げているとは思わない。

— それにもかかわらず、これらはアーカイブからの文書、コピーである。これは、私たちが現在ウクライナと呼んでいるロシアの土地のこの地域で当時権力を掌握していたボフダン・フメリニツキーからの手紙である。

※注：ボフダン・フメリニツキー

当時宗主権下にあったルーテニアの貴族で、ウクライナ コサックの軍司令官。ザポリージャ軍のヘックマン。ポーランドとリトアニア連邦。彼は連邦とその有力者に対する反乱を主導（1648年から1654年）、その結果ウクライナに独立したコサック国家が創設された。1654年、彼は条約に署名した。ペレヤスラフはロシア皇帝と協力し、コサック=ヘチマン国家とロシア皇帝を同盟させ、ウクライナ中央部をロシアの保護下に置いた。反乱中、コサックは1648年から1649年にかけて数千人のユダヤ人の虐殺を主導し、最も

衝撃的な人物の一人となった。ウクライナのユダヤ人とウクライナのナショナリズムの歴史における出来事となった。cf. <https://academic-accelerator.com/>

彼はワルシャワに手紙を書き、彼らの権利の尊重を要求したが、拒否された後、彼らをモスクワ皇帝の強力な手の下に置くようモスクワに手紙を書き始めた。ここ[フォルダ内]にはこれらの文書のコピーがある。良い思い出として残しておく。ロシア語への翻訳があり、それを英語に翻訳する。

ロシアはポーランドとの戦争が始まることを想定していたため、すぐに受け入れることには同意しなかった。しかし、1654年、旧ロシア国家の代表機関であるゼムスキー・ソボルは、旧ロシア領の一部をモスクワ王国の一部とすることを決定した。

出典：ロシアの歴史完全版 第一章

ワシントンの米国議会議事堂 - InoSMI、1920年、2024年2月6日

連邦主義者 アメリカ合衆国

アメリカ合衆国ウクライナ - より多くのお金、アメリカ人 - より多くの不法移民

2024年2月6日

予想通り、ポーランドとの戦争が始まった。それは13年間続き、その後停戦が締結された。そして1654年のこの法律の締結直後、32年後、私(※注：プーチン)の意見では、当時言われていたように「永遠の平和」としてポーランドとの和平が締結された。そしてこれらの土地、キーウを含むドニエプル川の左岸全体はロシアに譲渡され、ドニエプル川の右岸全体はポーランドに残った。

その後、エカチェリーナ2世の時代に、ロシアは南部と西部を含むすべての歴史的な土地を返還した。これはすべて革命まで続いた。そして第一次世界大戦前、これらのウクライナ化の考えを利用して、オーストリア参謀本部はウクライナとウクライナ化の考えを非常に積極的に推進し始めた。

出典：ロシアの歴史完全版 第二章

※注：エカチェリーナ2世（露語: Екатерина II Алексеевна）、1729年4月21日 - 1796年11月6日は、ロマノフ朝第8代

ロシア皇帝（女帝）。在位は1762年6月28日 - 1796年11月6日。夫は第7代皇帝ピョートル3世ならびにグリゴリー・ポチョムキン（秘密結婚）、子は第9代皇帝パーヴェル1世ほか。cf. Wikipedia

その理由はすべて明らかである。もちろん、世界大戦の前夜には、潜在的な敵を弱めたいという願望があり、国境地帯に自分たちにとって有利な条件を作りたいという願望があったからである。そして、かつてポーランドで生まれた、この領土に住んでいる人々は完全にロシア人ではなく、おそらく特別な民族グループであるウクライナ人であるという考えは、オーストリア参謀本部によって推進され始めた。

19世紀にはウクライナ独立理論家も登場し、ウクライナ独立の必要性を主張した。しかし、ウクライナ独立の「柱」全員が、ロシアと非常に良好な関係を築くべきだと主張し、これを主張したのは事実だ。それにもかかわらず、1917年の革命後、ポリシェヴィキは国家の地位を回復しようとし、ポーランドとの戦争を含む内戦が勃発した。

1921年にポーランドと和平が締結され、ドニエプル川右岸の西部が再びポーランドに譲渡されること

になった。

1939年、ポーランドがヒトラーと協力し、ポーランドもヒトラーと協力した後、ヒトラーはポーランドとの平和、つまり友好同盟条約を締結することを提案したが、その一方でポーランドがドイツに恩返しすることを要求した。これはダンツィヒ回廊と呼ばれ、ドイツ本土とケーニヒスベルク) および東プロイセンを結んでいた。

※注：ダンツィヒ回廊、ポーランド回廊とも)

第一次世界大戦後のポーランド国家復興の際にドイツ国から割譲された領土のうち、自由都市ダンツィヒ（現グダニスク）とドイツ領プロイセン州に挟まれ、バルト海に面した回廊地帯を指す。ポーランド第二共和国(1918-1939)時代においての、バルト海への往来を確保するための回廊。

cf. Wikipedia

第一次世界大戦後、領土のこの部分はポーランドに与えられ、ダンツィヒの代わりにグダニスク市が誕生した。ヒトラーは彼らに平和的に降伏するよう懇願したが、ポーランド人は拒否した。しかし、それにもかかわらず、彼らはヒトラーと協力し、一緒にチェコスロバキアを分割し始めた。

- 聞いてもいいですか？あなたは、ウクライナの一部は実際には何百年もロシアの土地だったと述べた。24年前に大統領になったときに、なぜそれを受け入れなかったのか？ 武器も持っていた。なぜそんなに長く待ったのか？

- さて、言うておきますが、私はすでにこの歴史的情報を終えている。退屈かも知れないが、多くのことを説明している。

- 退屈ではありません、いいえ。

- それはすごい。大変お褒め頂き嬉しく思う。どうもありがとう。

つまり、第二次世界大戦前、ポーランドがドイツに協力し、ヒトラーの要求を拒否し、それでもヒトラーとともにチェコスロバキアの分割に参加したとき、ポーランドはダンツィヒ回廊を手放さなかったため、それでもポーランド人はそれを強要し、ゲームを演じてヒトラーに第二次世界大戦を一緒に始めさせたのである。なぜポーランドは1939年9月1日に戦争を始めたのか？非協力的だったからだ。ヒトラーはポーランドとの開戦計画を実現するために何もすることはなかった。

ところで、ソ連は--私は公文書を読んだが--非常に誠実に振る舞い、ソ連はチェコスロバキアを助けるために軍隊を派遣する許可をポーランドに求めた。しかし、当時のポーランド外相は、ソ連の飛行機がポーランド領内を通過してチェコスロバキアに向かったとしても、ポーランド領内で撃墜されるだろうと言った。そんなことは重要ではない。重要なのは、戦争が始まり、ポーランド自身がチェコスロバキアに対する政策の犠牲になったということだ。有名なモロトフ・リッベントロップ議定書によれば、西ウクライナを含むこれらの領土の一部はロシアに帰属した。ロシアはソビエト連邦の名の下に、歴史的領土に戻ったのである。

※注:モロトフ・リッベントロップ議定書

1939年8月23日、ドイツのヒトラーとソ連のスターリンの間で調印された、互いに攻撃しないことを約束した条約。有効期限は10年とされた。交渉当事者であった両国の外務大臣のなをつけて、別

名、モロトフ=リッベントロップ条約ともいう。ドイツとソ連の間に締結された独ソ不可侵条約の要点は次の通り。

相互の不可侵（お互いに相手国を攻撃しないこと）

一方が第三国から攻撃された場合、他方はこの第三国を援助しない

相互の情報交換・協議のための接触

ともに一方を直接間接敵とする諸国家の集団に参加しない

相互間の紛争の平和処理

これ以外に秘密協定があったことが、大戦後明らかになった（独ソ不可侵条約秘密議定書）。

ウクライナ国軍のヴァレリー・ザルジニ司令官。2023年7月28日 - InoSMI、1920年、2024年2月7日ウクライナでの軍事作戦
タイムズ イギリス
ゼレンスキー政権の軍民指導部の交代をタイムズが考察：鉄の将軍
2024年2月7日

私たちが言うように、これは第二次世界大戦である大祖国戦争の勝利後、これらすべての領土は最終的にロシア、ソ連に割り当てられた。そして、ポーランドは、その代償として、もともとドイツ領だった西部の領土、つまりドイツ東部、土地の一部を受け取ったと考えられるが、これらは今日のポーランドの西部地域である。そして当然のことながら、彼らは再びバルト海へのアクセスを返し、ポーランド語で呼ばれるようになったダンツィヒを再び返した。このようにしてこの状況は発展した。

ソビエト連邦の形成中、これはすでに1922年であり、ポリシェヴィキはソ連の形成を開始し、これまでまったく存在しなかったソビエト・ウクライナを創設した。

- すべて正しい。

——同時に、スターリンは、設立されつつあるこれらの共和国も自治体として含めるべきだと主張したが、どういうわけか、ソビエト国家の建国者レーニンは、これらの共和国にはソビエト連邦から脱退する権利があると主張した。そして、これも理由は不明だが、彼は新興ソビエトのウクライナに、それまでウクライナと呼ばれたことはなかったとしても、土地とそこに住む人々を与えた；何らかの理由で、その形成中に、これらすべてがウクライナ・ソビエト社会主義共和国に「注入」された。これにはエカチェリーナⅡ世の時代に受け入れられた黒海地域全体が含まれているが、実際にはウクライナとは歴史的に何の関係もなかった。

私たちが覚えているとしても、これらの領土がロシア帝国に返還された1654年に戻ろう。そのとき、ウクライナには3つまたは4つの現代の地域があり、そこには黒海地域はなかった。話すことは何もなかった。

- 1654年に？

- はい、正確に。

——百科全書的な知識をお持ちですね。しかし、なぜ大統領就任後の最初の22年間、このことについて話さなかったのか？

——つまり、ソ連のウクライナは、それとはまったく関係のない膨大な数の領土、主に黒海地域を譲り受けたわけだ。かつて、露土戦争の結果としてロシアがそれらを受け入れたとき、それらはノヴォロシア（※注：新ロシア）と呼ばれていた。しかし、それは重要ではない。重要なことは、ソビエト国家の創設者であるレーニンがまさにこのようにウクライナを創設したということである。

そして何十年にもわたって、ウクライナ・ソビエト社会主義共和国はソ連の一部として発展し、ポリシェヴィキもまた理由は不明だが、ウクライナ化に取り組んできた。ソビエト連邦の指導者にウクライナからの移民がいたからだけでなく、一般にそのような政策、つまり「土着化」と呼ばれた政策があったからである。これはウクライナと他の連邦共和国に関係するものであった。国語と国民文化が導入されたが、もちろん、一般的に、原則として、それは悪いことではない。しかし、これがソビエト・ウクライナが作られた方法である。

そして第二次世界大戦後、ウクライナは戦前のポーランド領土の一部だけでなく、今日では西ウクライナ、ハンガリー領土の一部、ルーマニア領土の一部を譲り受けた。領土の一部はルーマニアとハンガリーからも奪われ、これらの領土はソビエト・ウクライナの一部となり、今もそこにある。したがって、もちろん、ウクライナは、ある意味では、スターリンの意志によって作られた人工国家であると言うのには十分な理由がある。

——ハンガリーには領土を奪う権利があると思うか？そして、他の国々が自分たちの土地を取り戻し、おそらくウクライナを1654年の国境に戻すことができるだろうか？

— 1654年の国境に行く方法がわからない。スターリンの治世はスターリン主義政権と呼ばれ、多くの人権侵害、他国の権利の侵害があったと誰もが言う。この意味で、もちろん、彼らがこの権利を持っているとまでは言わないにしても、これらの土地を彼らの所有物として返すことは十分に可能である。そして、いずれにせよ、それは理解できる。

出典：ロシアの歴史完全版 第一章

——オルバン氏にこのことについて、ウクライナの土地の一部を取り戻すことができると伝えたか？

- 私はそんなことは一度も言っていない。決して、一度もない。彼と私はこのことについて何の会話もしていなかった。しかし、そこに住んでいるハンガリー人が、もちろん歴史ある祖国に帰りたいと思っていることは確かである。

さらに、非常に興味深い話をする。余談になるが、これは個人的な話である。80年代初頭のどこか、私はサンクトペテルブルクから当時のレニングラードから車に乗り、キーウを經由してキーウに立ち寄り、その後西ウクライナへ向かうというソ連一周の旅に出た。ベレゴヴォという街に入ると、都市や村の名前はすべてロシア語と、私には理解できない言語、ハンガリー語で書かれていた。ロシア語とハンガリー語で。ウクライナ語ではなく、ロシア語とハンガリー語である。

村を車で走っていると、黒いスリーピーススーツと黒いシルクハットを着た男性たちが家の近くに座っている。私はこう言う：これらはある種の芸術家か？彼らは私に、「いいえ、彼らはアーティストではない、ハンガリー人です」と言う。私は言う：彼らはここで何をしているのか？なんと、ここは彼らの土地であり、彼らはここに住んでいるのである。ソ連時代、80年代。彼らはハンガリー語、名前、民族衣装をすべて保持している。彼らはハンガリー人であり、ハンガリー人のように感じている。そしてもちろん、侵害が今起こった場合...

- はい、このようなことはよくあると思う。おそらく、20世紀以前の変化の中で多くの国が国境の変更にも不満を抱いていたのであろう。しかし、実際には、2022年2月まで、このようなことは以前に

述べられていなかった。そしてあなたは、NATOからの物理的脅威、特に核の脅威を感じ、それが行動を起こすきっかけになったと言った。私はあなたのことを正しく理解しているか？

——私の長文対談はおそらくこのジャンルのインタビューには入らないと思うが。だからこそ私は冒頭で「真剣な会話をするのか、それともショーをするのか？」と尋ねたのである。真剣な話し合いだと言った。だから、私を怒らないでください。

私たちはソビエト・ウクライナが誕生する瞬間に来た。そして1991年、ソビエト連邦の崩壊が起こったり。そして、ウクライナがロシアからの贈り物として「主人の肩から」受け取ったものはすべて持ち帰った。

今、非常に重要なポイントに来ている。結局のところ、このソ連の崩壊は、実際にはロシアの指導者によって始められたのである。当時ロシアの指導者が何を導いたのかは分からないが、すべてがうまくいくと考えるにはいくつかの理由があったのではないかと思う。

第一に、ロシアの指導者はロシアとウクライナの関係の基本原則に基づいて進めたと思う。実際、共通言語があり、90%以上がロシア語を話していた。家族の絆、つまり3人に1人は何らかの家族や友人のつながりを持っている。一般的な文化。一般的な歴史。最後に、共通の宗教。何世紀にもわたって単一国家内に共通に存在していた。経済は非常に相互に関連しており、これらはすべて非常に基本的なものである。これらすべてが私たちの良好な関係の必然性の根底にある。

2番目のことは非常に重要である。アメリカ国民として、そして視聴者にもこのことを聞いていただきたい。以前のロシア指導部は、ソ連が存在しなくなり、イデオロギー的な分断線が存在しなくなったという事実から出発した。ロシアはソビエト連邦の崩壊に自発的かつ積極的に同意さえしており、これはいわゆる（すでに引用符で囲んだ）「文明化された西側諸国」によって協力と同盟の提案として理解されるだろうという事実から進んでいる。これはロシアが米国といわゆる西側諸国全体に期待していたことだ。

ドイツも含めて賢い人たちがいた。エゴン・バールは社会民主党の主要な政治家で、ソ連崩壊前にソ連指導部との会話で個人的に主張し、ヨーロッパに新たな安全保障システムを創設する必要があると述べた。私たちはドイツの団結を支援する必要があるが、米国、カナダ、ロシア、その他の中欧諸国を含む新しいシステムを創設する必要がある。しかし、NATOが拡大する必要はない。それが彼が言ったことだ。もしNATOが普及すれば、すべては冷戦中と同じになるだろう、ただロシアの国境に近づくだけだ。それだけである。祖父は賢かった。誰も彼の言うことを聞かなかった。さらに、彼はどういうわけか怒った。この会話は私たちのアーカイブにもある。もし彼が言うなら、もしあなたが私の言うことを聞かないなら、私は二度とモスクワには来ない。ソ連指導部に怒っている。彼は正しかった、すべては彼の言ったとおりに起こった。

※注：エゴン・バール（Egon Karlheinz Bahr、
1922年3月18日 - 2015年8月19日）

ドイツの政治家（ドイツ社会民主党所属）、経済協力大臣
（1974年 - 1976年）。テューリンゲン州生まれ。

ヴェリー・ブランドの側近として、東西ドイツの分断克服の
アイデアとして「接近による変革」を提唱し、東西ドイツ基
本条約交渉をはじめとするソ連、東ドイツ、ポーランドとの
関係正常化を目指した東方外交において主導的な役割
を担ったことで知られる。cf. Wikipedia

ニューズウィーク アメリカ合衆国

タッカー・カールソン氏、プーチン大統領との会見で制裁を受ける可能性

2024年2月7日

- ええ、もちろん、彼の言葉は現実のものとなった。あなたは何度もそれについて話しているが、まったくその通りだと思う。そして米国の多くの人々も、ソ連崩壊後はロシアと米国の関係は正常になると考えていた。しかし、その逆のことが起こった。しかし、あなたはなぜそうなったのか、なぜそうなったのかを説明していない。たしかに西側諸国は強いロシアを恐れているかもしれないが、西側諸国は強い中国を恐れていない。

— 西側諸国は強いロシアよりも強い中国を恐れている。なぜなら、ロシアには1億5千万人、中国には15億人の人口があり、中国経済は飛躍的に発展しており、年間5パーセント以上だったからだ。さらにもっと。しかし中国にとってはこれで十分だ。ビスマルクはかつてこう言った：重要なのは可能性である。中国の潜在力は計り知れず、購買力平価と経済規模の点で今日世界第一位の経済国である。彼らはすでにかなり長い間米国を追い越しており、そのペースはさらに高まっている。

さて、誰が誰を恐れているかは言わない。そのようなカテゴリーで話すのはやめよう。1991年以降、ロシアが「文明人」の兄弟家族に迎え入れられると期待していたとき、そのようなことは何も起こらなかったという事実について話そう。あなたは私たちを騙した - 私が「あなた」と言うとき、私はもちろんあなた個人を意味するのではなく、米国を指す - あなたは東への NATO 拡張はないと約束したが、これは5回、5回の拡張の波で起こった。私たちはすべてに耐え、すべてを説得し、言った：必要はない、ブルジョワが言うように、私たちは今自分のものである、私たちは市場経済を持っている、共産党の力はない、合意に達しよう。

さらに、私は公の場でこうも言っている。エリツインの時代を例にとると、「灰色の猫が逃げ出した」瞬間があった。その前、エリツインは米国を訪れ、議会で演説し、「アメリカに神のご加護を」という素晴らしい言葉を口にした。彼は何でも言った。

いや、ユーゴスラビアでの出来事が始まったとき.....それ以前は、エリツインは賞賛されていた。ユーゴスラビアでの出来事が始まり、彼がセルビア人のために声を上げたとき、私たちはセルビア人のために、彼らの擁護のために声を上げずにはいられなかった.....複雑なプロセスがあったことは理解している。しかし、ロシアはセルビア人のために声を上げずにはいられなかった。なぜなら、セルビア人もまた、正教の文化などを持つ、私たちに近い特別な国民だからだ。何世代にもわたって苦難に耐えてきた民族だ。まあ、そんなことはどうでもよくて、重要なのはエリツインが賛成意見を述べたことだ。アメリカは何をしたのか？国際法、国連憲章に違反して、ベオグラードへの空爆を開始した。

米国は魔神を瓶から出してしまった。さらに、ロシアが反対し、憤りを表明したとき、何と言われたか？国連憲章と国際法は時代遅れである。今では誰もが国際法を参照するが、その後、すべてが時代遅れであり、すべてを変える必要があると言い始めた。

確かに、力のバランスが変化したため、何かを変える必要があるのは事実だが、このような形ではない。はい、ちなみに、彼らはすぐにエリツインに泥を投げ始め、彼がアルコール依存症で、何も理解しておらず、何も理解していないと指摘した。彼はすべてを理解し、すべてを理解していた、私は保証する。

分かった、それで。私（※注：プーチン）は2000年にロシアの大統領に就任した。私はこう思った。よし、これで終わり、ユーゴスラビア問題は終わった、我々は関係回復に努める必要がある、それでもロシアが通ろうとしているこの扉を開けなければならない。そしてさらに、私はこのことについて公に話した、繰り返すが、ここクレムリンで、辞任するビル・クリントン氏との会合で、隣の部屋

で、隣同士で、彼に質問をした、聞いて欲しい、ビル、と言った。もしロシアがNATO加盟の問題を提起したら、それは可能だと思うか？

突然、彼はこう言ったんだ。夕方、夕食の席で彼と会ったとき、彼はこう言った。私たちのインタビューを聞けば、確認してくれると思うよ。もしそうでなければ、私はそんなことは決して言わない。わかったよ。

- そのときは誠実だったか？ NATOに参加しないか？

- 可能か不可能か？そして、私が得た答えはノーだった。もし、私が経営陣の立場を知りたいと思うあまり、卑屈になっていたとしたら.....。

——もし彼が「はい」と言ったら、あなたはNATOに参加するか？

「もし彼がイエスと言え、和解のプロセスが始まり、最終的にはパートナーの心からそうしたいという願望が見られれば、それが実現する可能性がある。しかし、それで終わりではなかった。まあ、いいえ、いいえ、わかった、大丈夫である。

- どうして...と思うのだから？その動機は何だろうか？この件に関して、あなたが苦い思いをしているのがわかる。しかし、なぜ当時西側諸国があなたをあれほど拒絶したと思うか？この敵意はどこから来るのか？なぜ関係は改善できなかったのか？あなたから見て、その動機は何だったか？

「あなたは、私とその答えに苦い思いをしていると言った。」いいえ、これは苦々しいことではなく、単に事実を述べているだけである。私たちは新郎新婦ではないし、恨みや恨みはそのような場合に起こる物質ではない。私たちはただ、彼らがそこで私たちを待っているわけではないことに気づいた、それだけである。まあいいよ。しかし、別の方法で関係を築こう、共通点を探そう。なぜそのような否定的な反応を受けたのか、あなたはリーダーに尋ねる。理由は推測することしかできないが、この国は独自の意見を持った大きすぎるためである。そして米国 - NATO で問題がどのように解決されるのかを見てきた...

ここでもう一つ、ウクライナに関する例を挙げてみたいと思う。米国指導部は「圧力をかけ」、たとえ気に入らないことがあっても、すべてのNATO加盟国は従順に投票した。さて、これに関連して、2008年にウクライナに何が起こったのかを話す。これについては議論されているが、ここでは新しいことは何も話さない。

それにもかかわらず、その後、私たちはさまざまな方法で関係を築こうとした。例えば、中東やイラクでの出来事があり、私たちは非常に穏やかかつ冷静に国家との関係を築いた。

私は、米国は北コーカサスにおける分離主義もテロリズムも支持すべきではないという問題を繰り返し提起してきた。しかし、彼らはとにかくそれを続けた。そして、コーカサス地域のテロ集団に関しては、政治的支援、情報支援、財政的支援、さらには軍事的支援も米国とその衛星から提供した。

私はかつてこの問題を同僚である米国大統領に提起したことがある。彼は「そんなはずはない、証拠はあるのか？」と言った。私はあると言った。私はこの会話の準備ができていて、彼にこの証拠を渡した。彼は見て、彼が何を言ったか？引用するが、それは起きた、と彼は言った：まあ、私は彼らの尻を蹴る。私たちは答えを待っても待っても答えはなかった。

私はFSB長官に言う。CIAに手紙を書いて欲しい。大統領との会話の結果はあるか？1、2回書いたら返事が来た。答えはアーカイブにある。答えはCIAから来た。我々はロシアの反政府勢力と協力した。私

たちはこれが正しいと信じており、野党と協力し続ける。面白い。わかった。私たちは会話が成り立たないことに気づいた。

※注：FSB（ロシア連邦保安庁）、露語略称：ФСБ
ロシア連邦の法執行機関。報道では「連邦保安局」
とも表記される。 cd Wikipedia

タッカー・カールソン氏はプーチン大統領との面談が必要な理由を説明した

InoSMI ロシア

タッカー・カールソン: なぜ私はプーチン大統領にインタビューしているのですか?

2024年2月7日

-反対か?

—もちろん、この場合、私たちはコーカサスで私たちと一緒に戦った分離主義者、テロリストを意味した。それが私たちが話していたことである。彼らはそれを反対と呼んだ。これが2番目の点である。

3番目の点は、非常に重要だが、米国のミサイル防衛システムの創設の瞬間、つまり始まりである。私たちは米国にこのようなことをしないよう説得するのに長い時間を費やした。さらに、ブッシュ・ジュニアの父であるブッシュ・シニアが私を海上に訪ねるよう誘った後、そこでブッシュ大統領と彼のチームとの非常に真剣な会話が行われた。

私は、米国、ロシア、欧州が共同でミサイル防衛システムを創設することを提案したが、米国はイランからのミサイルの脅威に備えて創設されていると公式に述べているにもかかわらず、一方的に創設されたものは我が国の安全を脅かすものであると我々は考えている。これはミサイル防衛創設の正当化でもあった。私は、ロシア、アメリカ、ヨーロッパの3国が協力することを提案した。彼らはそれがとても面白かったと述べた。ただ、彼らは私に「本気か?」と尋ねた。

- これは何年のいつのことか?

- 覚えていない。これは私がブッシュ・シニアの招待で米国にいたときにインターネットで簡単に調べることができる。調べるのはさらに簡単である。今度は誰から来たのかを説明する。

彼らは私に、「これはとても興味深い」と言った。私が言いたいのは、安全保障の分野におけるこのような世界的な戦略的課題を私たちが力を合わせて解決することを想像してみたい。世界は変わる。おそらく経済的、さらには政治的な紛争も起こるであろうが、私たちは世界の状況を根本的に変えるであろう。彼は[答えて]こう言う: はい。彼らは私に「本気か?」と尋ねた。私は言う: もちろん。それについて考える必要がある、と私は言われた。私は言う: お願いしますと。

その後、ドイツ国防長官、元CIA長官、そしてライス国務長官がこのオフィスに来て、私たちは今話しているここ、このテーブルで、逆に、彼らはこちら側に座っていた。私、外務大臣、ロシア国防大臣は向こう側である。彼らは私に、「はい、私たちはそう思った、私たちは同意する」と述べた。私は言う: 神に感謝する、素晴らしいことだ。 - 「ただし、一部の例外を除き。」

— アメリカの歴代大統領がどのような決断を下し、その決断をチームが頓挫させたかを2度にわたって説明したわけですね?

- その通りだ。結局、もちろん私たちは追い払われた。詳しいことは内緒の話なので、正しくないと思

うから言わない。しかし、私たちの提案が却下されたのは事実だ。そのとき私は、「いいか、しかし、そうならば我々は報復措置を取らざるを得なくなる。ミサイル防衛システムを確実に打ち負かすような攻撃システムを構築する。私たちはあなたの方に対してこのようなことをするわけではない、あなた方は好きなようにすればいい。私は言った。我々はそれを実行した。そして、大陸間航続距離を持つ極超音速システムを開発し、今も開発を続けている。私たちは現在、極超音速攻撃システムの開発で他のどの国よりも先を行っている。しかし、我々はそれを行わず、別の道を進むことを提案し、押し戻された。

次にNATOの東方への拡大についてである。そう、彼らは約束した。私たちが言われていたように、東にはNATOはなく、東には1インチも。そして次は何だろうか？彼らは、「そうですね、まだ紙に記録していないので、拡大してみる」と述べた。バルト三国、東ヨーロッパ全土などを含む5つの拡張だ。

さて、本題に移る。ウクライナに到着した。2008年、ブカレストでの首脳会議で、ウクライナとグルジアにNATOへの扉が開かれたと発表した。

ここで、どのように意思決定が行われるかについて話そう。ドイツとフランス、そして他のヨーロッパ諸国も反対しているようだ。しかし、後で分かったのだが、ブッシュ大統領は非常に強い男で、強い政治家であった。後で彼らが私に話したように、彼は私たちに圧力をかけ、私たちは同意せざるを得なかった。幼稚園みたいで面白い。保証はどこにあるのか？ここはどんな幼稚園なのか、どんな人たちがいるのか、どんな人たちなのか？ご存知のとおり、彼らは「圧力」を受けて同意したのである。そして彼らはこう言う、「ウクライナはNATOには参加しないであろう」。私はこう言う：わからない。2008年に同意したことは知っているが、今後はなぜ同意しないのか？「それで、彼らは私たちに圧力をかけてきた。」私はこう言う、なぜ彼らは明日あなたに圧力をかけないのか、そうすればあなたもまた同意するだろう。まあ、それはナンセンスだ。そこで誰に話せばいいのかわからない。話す準備はできているが。でも誰と？保証はどこにあるのか？なし。

これは、彼らがウクライナの領土を開発し始めたことを意味する。そこに何があったとしても、私はその背景、この領土がどのように発展したか、ロシアとどのような関係があったのかを話した。そこにいる2人目、3人目は必ずロシアと何らかのつながりを持っている。そして、独立宣言の結果として独立を獲得した。独立した主権を有するウクライナの選挙中に、ちなみに、そこには、ウクライナは中立国であると書かれており、2008年に、ウクライナへの扉、つまり門が開かれた。NATOは突然そのために開かれた。これは面白い映画である！私たちはそのようには同意しなかった。そのため、ウクライナで権力を握った大統領は皆、何らかの形でロシアに対して好意的な態度を示した有権者に依存していた。ここはウクライナの南東部、たくさんの方が住んでいる。そして、ロシアに対して肯定的な態度をとったこの有権者を「殺す」ことは非常に困難であった。

ヴィクトル・ヤヌコービッチが権力を掌握し、どのようにしてクチマ大統領の後初めて勝利したのか、彼らはウクライナ憲法には規定されていない第3ラウンドを組織した。これはクーデターである。アメリカで誰かがそれを気に入らなかったと想像してみたい。

- 2014年に。

-いいえ、それよりも前である。いえ、いいえ、これは前にも起こった。クチマ大統領に続いて、ヴィクトル・ヤヌコービッチが選挙に勝利した。しかし、対戦相手はこの勝利を認めず、米国は対戦相手を支持し、第3ラウンドを予定した。これは何か？これはクーデターである。アメリカは彼を支持し、第3ラウンドの結果として彼は権力を掌握した...アメリカで誰かが何かを気に入らなかったと想像してみたい - 彼らは第3ラウンドを組織したが、それは合衆国憲法には規定されていない。しかし、それにも

かかわらず、彼らはそこで（ウクライナで）それを行った。

さて、親西側の政治家とみなされていたヴィクトル・ユシチェンコが権力を握った。わかったが、私たちは彼との関係も確立し、彼は訪問でモスクワに行き、私たちはキーウに行き、そして私も行った。私たちは非公式な雰囲気です。西洋は西洋、それでいいのである。それはそれとして、人々は働いている。状況は独立したウクライナ自体の内部で発展しなければならない。彼が国を率いた後、状況は悪化し、ついにヴィクトル・ヤヌコーヴィチが権力を掌握した。

おそらく彼は最高の大統領や政治家ではなかったのだろうが、私には分からないし、判断したくない。が、欧州連合との関係の問題が生じた。しかし、私たちは常にこれに非常に忠実であった。「お願いします」と。しかし、この貿易協定を読んだとき、これが私たちにとって問題であることがわかった。なぜなら、私たちはウクライナと自由貿易地域を持っており、関税の国境を開放しており、この協定によれば、ウクライナはヨーロッパに対して国境を開放しなければならなかったのである。すべてが私たちの市場に流れ込むであろう、と。

私たちは「いいえ、それではうまくいかない。その場合はウクライナとの国境、関税の国境を閉鎖する」と伝えた。ヤヌコーヴィチはウクライナがどれだけ勝ち、どれだけ失うかを計算し始め、ヨーロッパの相手国に「署名する前にもう一度考えなければならない」と宣言した。彼がこれを発言するとすぐに、西側諸国の支援を受け反政府派の間で破壊的な行動が始まり、すべてはマイダンとウクライナのクーデターにまで及んだ。

※注:ユーロマイダン（ウクライナ語：Євромайдан、ロシア語：Евромайдан, Yevromaidan）とは、ウクライナで起きた市民運動のことで、2013年11月21日夜に首都キーウにある独立広場におけるデモ活動に始まり、2014年のマイダン革命（尊厳の革命）（ユーロ・マイダン革命）]では、親ロシア派のヴィクトル・ヤヌコーヴィチ大統領の追放をもたらした。ウクライナがロシアと欧州連合のどちらを選択するかが争われた2004年のオレンジ革命に続く革命であった。cf. Wikipedia

—ということは、彼はEUやウクライナよりもロシアと多く取引していたのか？

- 確かに。それは貿易量の問題ではないが、それ以上である。重要なのは、ウクライナ経済全体の基盤となる協力関係だ。企業間の協力関係はソビエト連邦の時代から非常に緊密であった。そこでは、ある企業がロシアとウクライナの両方で最終組み立て用の部品を生産し、またその逆も同様であった。非常に密接な関係があった。

クーデターは実行されたが、私たちはアメリカから、今は詳細を述べないが、間違っていると思う。私たちは、「わかった、そうしよう」と言った。ヤヌコーヴィチは、アメリカが我々に求めたように、軍隊も警察も使わなかった。しかし、キーウの武装野党はクーデターを起こした。どうしたことだ？ あなた方は何者なのか？ - 私は当時のアメリカの指導者に聞いたかった。

ウクライナ領土防衛軍のトランスジェンダー議長、タッカー・カールソンを「人類の敵」「宦官」と呼んだ 2024年2月7日

ブライトバートアメリカ合衆国

アメリカ人ジャーナリスト、タッカー・カールソン - 外国メディア、1920年、2024/02/07

—誰のサポートを受けてか？

——もちろんCIAの支援があった。あなた（※注：タッカー・カールソンのこと）が一度は働きたいと思っていた組織である。おそらく、彼らがあなただけを連れて行かなかったのは神に感謝しているかもしれない。これは深刻な組織ではあるが、私が第一主局で働いていたという意味での私の元同僚たちは、ソ連の諜報機関であることを理解している。彼らは常に我々の敵だった。仕事は仕事だ。

厳密に言えば、彼らはすべてを正しく行い、望んでいたものを達成し、政府を変えた。しかし、政治的な観点から見ると、これは大きな間違いである。もちろん、ここでは政治指導部がその役割を適切に果たせなかった。政治指導者はこれが何をもちたかを理解すべきだった。

こうして、2008年にウクライナのNATOへの扉が開かれた。2014年に彼らはクーデターを実行したが、そのクーデターを認めなかった人々がいたとしても、これはクーデターである。迫害が始まり、クリミアへの脅威が生まれ、私たちはそれを余儀なくされた。私たちの保護下にあった。彼らは2014年にドンバスで民間人に対して航空機と大砲を使用して戦争を開始した。結局のところ、ここからすべてが始まったのである。飛行機が上空からドネツクを攻撃するビデオ記録がある。彼らはある大規模な軍事作戦を実行したが、別の作戦は失敗した。彼らはまだ準備を続けている。そして依然として、この地域の軍事開発とNATOへの扉の開放を背景にしている。

さて、何が起きているのかについて懸念を示さないわけにはゆかない。私たちの側では、それは犯罪的な不注意、それはそういうことだろう。ただ、各国の政治的指導力が、ロシアそのものを破壊することになるため、これ以上越えることはできない一線に私たちを追い込んだだけなのである。そして、私たちは同じ宗教者たち、そして実際にはロシア国民の一部をこの軍事機構の下に放り込むことはできなかった。

——紛争が始まる8年前のことですね。結局、このステップを踏まなければならないと決断したとき、何がこの対立を引き起こしたのか？

—当初、紛争はウクライナのクーデターによって引き起こされた。

ところで、ドイツ、ポーランド、フランスという欧州3カ国の代表が到着し、ヤヌコビッチ政権と反政府勢力との間で署名された協定の保証人となった。彼らは保証人として署名をした。それにもかかわらず、反政府勢力はクーデターを実行し、これらの国々は平和的解決の保証人であるという事実について何も覚えていないふりをした。彼らはすぐにそれをオープンに放り込んだが、誰も覚えていない。

米国が野党と当局との間のこの合意について、そしてこのプロセス全体を政治の場に戻す代わりに、いや、クーデターを支援した3人の保証人について何か知っているかどうかは知らない。意味はないが、信じて欲しい。ヤヌコビッチ大統領はすべてに同意し、勝つ見込みのない早期選挙の準備を整えていたため、正直言ってチャンスはなかった。誰もがこれを知っていた。

しかし、なぜクーデター、なぜ犠牲を払うのか？なぜクリミアを脅すのか？ではなぜドンバスで活動を始めたのか？これが私には理解できない。ここに誤算がある。CIAはクーデター実行の任務を完了した。そして、私の意見では、国務副長官の一人は、これに50億ドル近い多額の費用を費やしたとも述べた。しかし、政治的な間違いは計り知れない。なぜこれを行う必要があったのか？同じことはすべて、合法的にのみ、死傷者も出さず、軍事作戦の開始もクリミアの喪失もなく行うことができたはずだ。そして、マイダンでのこれらの血なまぐさい出来事がなければ、私たちは指一本も離さなかったであろうし、そのようなことは決して思いつかなかった。

ソビエト連邦の崩壊後、連合共和国の国境に沿ってすべてが、このようにあるべきであることに私た

ちが同意したからである。私たちはこれに同意した。しかし、我々は決してNATO拡大に同意したことはなく、ましてやウクライナがNATOに加盟することに同意したことは一度もなかった。私たちは何の会話もせずにそこにNATO基地が存在することに同意しなかった。私たちは何十年も「あれもしないで、あれもしないで」とお願いしてきた。

最近の出来事のきっかけは何か？

第一に、今日のウクライナ指導部は、ご存知のとおり、ドンバスでの平和的解決計画が概要を示された2014年のミンスクでの出来事の後に署名されたミンスク合意を履行しないと述べた。いいえ、今日のウクライナの指導者、外務大臣、その他すべての役人、そして大統領自身が、これらのミンスク合意のいかなる部分も気に入らないと宣言した。言い換えれば、彼らは従うつもりはないのである。そして、ドイツとフランスの元指導者たちは、私たちの時代、つまり1年半前に、全世界に向けて、確かにミンスク合意に署名したが、それを履行するつもりは決してなかったと直接、正直に述べている。私たちはただ鼻先で誘導されていただけであった。

——国務長官や大統領と話をしたことがあるか？もしかしたら彼らはあなたと話すのを怖がっていたのか？そして、もし彼らがウクライナに武器を送り込み続けるなら、あなたは行動するだろうと彼らに伝えたのか？

「私たちはこのことにつきずっと話してきた。我々は米国と欧州諸国の指導者に対し、このプロセスを直ちに中止し、ミンスク合意が確実に履行されるよう訴えた。正直に言うと、どうやってやればいいのか分からなかったが、やる準備はできていた。それらはウクライナにとっては困難であり、ドンバスにとっては多くの独立要素があり、それはこれらの領土のために提供されたものであり、これは真実である。

私は絶対に確信していた、今から言うが、それはドンバスに住んでいる人々をなんとか説得できれば——彼らはウクライナ国家の枠組みに戻るよう説得する必要があったが——そうすれば徐々に、徐々に傷は癒えるだろうと心から信じていた。徐々に、領土のこの部分が経済生活、一般的な社会環境に戻り、年金が支払われ、社会的給付が行われると、すべてが徐々に成長する。だが、誰もこれを望んでおらず、誰もが軍事力の助けだけで問題を解決したいと考えていた。私たちはこれを許すことができなかった。

そして、ウクライナで彼らが「いいえ、私たちは何も[実行]しません」と発表したとき、すべてがこの状況になった。私たちは軍事行動の準備を始めた。彼らは2014年に戦争を始めた。私たちの目標はこの戦争を止めることである。2022年にそれを始めたわけではない。これはそれを阻止するための試みであった。

——今それを止めることができたと思うか？目標は達成できたか？

——いいえ、目標の1つは「非ナチス化」であるため、私たちはまだ目標を達成していない。これはあらゆるネオナチ運動の禁止を指す。これは、昨年初めにイスタンブールで終了した交渉プロセス中に我々が議論した問題の一つであるが、特にヨーロッパ人は次のように言われたため、我々の主導で終わったわけではない。文書への最終署名のための条件を作成する。フランスとドイツの私の同僚は、「彼らがどのように協定に署名するのか想像できるか？こめかみにピストルを突きつけて？我々はキーウから軍隊を撤退させる必要がある。」と語った。私は言う：いいだろう、私たちはキーウから軍隊を撤退させた。

我々がキーウから軍隊を撤退させるとすぐに、ウクライナの交渉担当者はイスタンブールで達した全ての合意を即座にゴミ箱に捨て、米国と欧州における米国の衛星国の支援を受けて長期にわたる武力

衝突に備えた。状況がどのように発展したかは次のとおりである。そして、これが今の様子である。

ゴルファーを見守りながら話すタッカー・カールソンとドナルド・トランプ元大統領 - InoSMI、1920年、2024年2月8日

タッカー氏とプーチン氏の会談 2 日目？ 「副大統領のポストが検討されています。」

2024年2月8日

——非ナチ化とは何か？これはどういう意味か？

「今、それについて言いたい。」 これは非常に重要な質問である。

非ナチス化。西側の一部のアナリストが言うように、ウクライナは独立後、西側諸国のアナリストが言うように、自分たちのアイデンティティを模索し始めた。そして、そのアイデンティティの中心に、ヒトラーに協力した偽りの英雄を据えること以外に思いつかなかった。

19世紀初頭にウクライナの独立と主権の理論家が現れたとき、彼らは独立したウクライナはロシアと非常に親切で良好な関係を築くべきであるという事実から出発したことを私はすでに述べた。

しかし、歴史的発展により、これらの領土がポーランド・リトアニア連邦の一部であったとき、ポーランド、ウクライナ人は非常に残酷に、迫害され、没収され、このアイデンティティを破壊しようと、非常に残酷な行動をとったという事実がある。これにより、これらは人々の記憶、そしてすべてが国家に残された。

第二次世界大戦が始まると、国家主義的なエリートの一部は、ヒトラーが自由をもたらしてくれると信じ、ヒトラーと協力し始めた。ドイツ軍は、親衛隊軍であっても、ヒトラーと協力した協力者たちに、ポーランド人、ユダヤ人を絶滅させるという最も汚い仕事を与えた。これにより、ポーランド人、ユダヤ人、そしてロシア人に対するこの残忍な虐殺が行われたのである。

その先頭に立ったのはステパン・バンデラ、シュヘヴィチといったよく知られた人物たちだった。国民的英雄となったのはこれらの人々であった。それが問題なのである。

※注：ステパン・バンデラ

ウクライナの政治家、ウクライナ民族解放運動の指導者。ウクライナ民族主義、統合民族主義、反共産主義、反ソ連主義をもつ。cf Wikipedia.

※注：バンデラ主義者とは cf Russia Beyond

そして、ナショナリズムとネオナチズムは他の国にも存在する、と私たちは常に言われている。はい、新芽はあるが、私たちはそれを粉砕する。そして他の国では彼らはそれを粉砕する。しかし、ウクライナでは——、ナチスドイツのように、彼らは国民的英雄にされ、記念碑が建てられ、旗に掲げられ、たいまつを持って歩く群衆によって彼らの名前が叫ばれている。彼らはポーランド人、ユダヤ人、ロシア人を滅ぼした人々である。この慣行と理論は止めなければならない。

もちろん、どの国も、それが成長したので、そこの人々の一部であると考えている...これは一般的なロシア人の一部であると私が言うと、彼らは言う：いいえ、私たちは別の民族である。分かった、分かった。誰かが自分たちを別の民族であると考えたら、その人にはそうする権利がある。しかし、ナチズムやナチスのイデオロギーに基づいたものではない。

—今のテリトリーで満足できますか？

-これで終わりにします。あなたはネオナチズムと非ナチ化について質問した。

ウクライナ大統領がカナダを訪れ——このことはよく知られているが、西側諸国では隠蔽されている——そしてカナダ議会で、国会議長が述べたように、第二次世界大戦中にロシア軍と戦った人物が紹介された。さて、第二次世界大戦中にロシア人と戦ったのは誰か？ヒトラーとその手下たち。この男は親衛隊に所属し、個人的にロシア人、ポーランド人、ユダヤ人を殺害したことが判明した。ウクライナ民族主義者で結成された親衛隊部隊がこの汚い仕事を行った。ウクライナ大統領はカナダ議会全員とともに立ち上がり、この男を称賛した。どうこれを想像できるか？ちなみに、ウクライナ大統領自身も国籍的にはユダヤ人である。

-- どうするつもりですか？ヒトラーが死んで80年、ナチス・ドイツはもう存在しない。あなたはウクライナのナショナリズムの火を消したいと言っている。どうするのか？

- 私の話を聞いて下さい。あなたの質問は非常に微妙です...そして、私の考えを話してもいいか？気分を害されていないか？

- もちろん。

- 微妙なようで、非常に厄介な質問である。

あなたはこう言う：ヒトラーがいなくなっからもう何年も経つ、80年も経っている。しかし、ヒトラーの仕事は生き続けている。ユダヤ人、ロシア人、ポーランド人を滅ぼした人々は生きている。そして大統領、現在のウクライナ大統領は、カナダ議会で彼を称賛し、スタンディングオベーションを送った。私たちが目にしていることが今日起こっているとしたら、どうしてこのイデオロギーを完全に根絶したと言えるのか？これが私たちの理解では非ナチ化である。私たちはこの理論と生活の中での実践を放棄し、それを守ろうとする人々を排除する必要がある。それが非ナチ化である。これが私たちの意味するところである。

-なるほど。私はナチズムやネオナチズムを擁護しているわけではない。しかし、私が質問したいのは、現実的な観点からだ。あなたは国全体を支配しているわけではない。しかし、あなたが支配していない国で、どうやってイデオロギーや文化、感情、歴史を根こそぎにできるのでしょうか？どうやってそれを達成するのか？

——ご存知のとおり、どんなに奇妙に思われるかもしれないが、イスタンブールでの交渉中、私たちはそれでも——すべて書面で残っている——ネオナチズムをウクライナでは育成裁しない、ということに立法レベルで合意した。

カールソンさん、私たちはこれに同意した。これは、交渉プロセス中に実行できることが判明した。そして、近代文明国家としてのウクライナにとって、ここには屈辱的なことは何もない。ナチスのプロパガンダを宣伝することを許可されている国家はあるか？ 本当に？それだけである。

——交渉は行われるのか？そして、なぜこれまでウクライナ紛争解決に関するそのような交渉、つまり和平交渉が行われなかったのか？

「彼らは、複雑なプロセスの立場について合意するという非常に高い段階に達したが、それでも実質的には完了した。しかし、私たちがキーウから軍隊を撤退させた後、すでに述べたように、相手側のウクライナはこれらの合意をすべて破棄し、ロシアと最後まで戦うという西側諸国、ヨーロッパ、米

国の指示を考慮に入れた。

そしてそれ以上に、ウクライナ大統領（※注：ウラジミール・ゼレンスキー）はロシアとの交渉を法的に禁止した。彼は誰もがロシアと交渉することを禁止する法令に署名した。しかし、彼が自分自身を禁止し、全員を禁止した場合、どうやって交渉するのか？私たちは、彼がこの和解についていくつかのアイデアを提案していることを知っている。でも、何かに同意するには対話が必要だ？

- はい、しかしあなたはウクライナ大統領と話すのではなく、アメリカ大統領と話すことになる。最後にジョー・バイデンと話したのはいつか？

「いつ彼と話したか覚えていない。」覚えていないので、調べてみて欲しい。

- あなたは覚えていない？

- いや、でも何、全部覚えなきゃいけないのか、それとも何？やるべきことがたくさんある。私たちには内政事情がある。

「しかし、彼はあなたが行っている戦争に資金を提供している。」

- はい、彼は資金を提供しているが、私が彼と話したとき、それは当然のことながら特別な軍事作戦が開始される前だった、ところで、私はその時彼に言った - 詳細には立ち入らない、私はこれを決して行わない - しかし私はそのとき彼にこう述べた。「あなたはウクライナで起こっているすべてのことを支持し、ロシアを遠ざけるという歴史的な間違いを犯していると思う。」私はこのことを彼に話した - ちなみに、私は彼に何度も話した。これは正しいと思うが、ここではこれまでとする。

- 彼が何を言ったか？

- 彼に聞いて欲しい。あなたにとっては簡単である。あなたは米国国民なのだから、行って彼に聞いてみて欲しい。私たちの会話についてコメントするのは不適切である。

——しかし、それ以来、つまり2022年2月以降は彼とは話をしていなかったのか？

- 話さなかった。しかし、私たちにはある連絡先がある。ところで、私がミサイル防衛システムで協力するという私の提案についてあなたに話したときのことを覚えているか？

- はい。

- 皆さんに聞いてみて欲しい - 神に感謝する、彼らは全員、生きていて元気である。元大統領もコンドリーザ（ライス）も健在で、私の意見ではゲイツ氏と現中央情報局長官バーンズ氏——彼は当時駐ロシア大使だったが、私の考えでは、非常に成功した大使だ。彼らは全員、これらの会話の目撃者である。彼らに尋ねて欲しい。

ここでも同じことが当てはまる。バイデン大統領が私に答えたことに興味があるなら、彼に聞いて欲しい。いずれにせよ、彼と私はこのテーマについて話し合った。

アメリカ人ジャーナリスト T. カールソン、モスクワにて - InoSMI、1920 年、2024 年 2 月 8 日
センセーション: 新しい親友タッカーとプーチンが雪のモスクワでクマに乗る 2024 年 2 月 8 日

- あなたには奇妙に映るかもしれないが、イスタンブールでの交渉では、ネオナチズムをウクライナで

育成しないということで合意した。このことはよく理解している。しかし、外から見てみると、世界中が戦争の瀬戸際に立たされ、もしかしたら核攻撃さえ起こりかねない状況になりかねないと思われるかもしれない。バイデンに電話して、「この問題を何とか解決しましょう」と言ったらどうだろう。

- 解決策は？とても簡単だ。繰り返しますが、私たちはさまざまな機関を通じて接触している。もし本当に戦闘を止めたいのなら、武器の供給を止める必要がある。それよりも簡単なことがあるだろうか？なぜ彼に電話しなければならないのか？何を話せばいいのか、何を懇願すればいいのか。「こんな武器をウクライナに届けるつもりなのか？ああ、怖い、怖い、お願いだからやめて」。何を話すことがある？

何が簡単か？なぜ彼に電話しなければならないのか？何を話せばいいのか、何を懇願すればいいのか。「こんな武器をウクライナに提供するつもりか？ああ、怖い、怖い、やめてくれ 何を話すというのだ？

- NATOは、この事態が世界規模の戦争や核衝突にまで発展することを懸念しているのだろうか？ - いずれにせよ、彼らはそれについて話し、想像上のロシアの脅威で国民を怯えさせようとしている。これは明白な事実だ。思慮深い人々--俗人ではなく、思慮深い人々、アナリスト、実際の政治に携わっている人々、賢い人々--は、これが偽物であることを完全に理解している。ロシアの脅威は誇張されているのだ。

——例えばポーランドやラトビアなどにおけるロシアの侵略の脅威のことを指すか？ロシア軍をポーランドに派遣するシナリオを想像できるか？

- ポーランドからロシアへの攻撃があった場合のみ。なぜ？なぜなら、私たちはポーランドにもラトビアにも、どこにも興味がないからである。なぜ私たちはこれが必要なのか？私たちには単に興味がないだけである。ただの脅しだ。

- つまり、ウクライナを侵略し、大陸全体に領有権を主張している。そのような領有権の主張はないとはっきりいうのか？

- それは絶対に不可能である。分析家である必要はない。ある種の世界戦争に巻き込まれるのは常識に反する。そして世界規模の戦争は全人類を滅亡の危機に瀕させるであろう。それは明らかだ。

もちろん抑止手段はある。私たちは皆を怖がらせ続けた。明日、ロシアは戦術核兵器を使用するであろう、明日はこれを使用するであろう、いや、明後日には。だから何？これらは、ウクライナの軍事作戦舞台におけるロシアとの対立において、米国の納税者と欧州の納税者から追加の金を引き出すための、一般の人々にとってのただの恐ろしい話である。目標はロシアを可能な限り弱体化させることだ。

— 上級上院議員の一人であるチャック・シューマー氏は昨日こう言ったと思う、 - ウクライナに資金を提供し続けなければ、いずれアメリカ兵がウクライナで戦わなければならなくなる。このような発言をどう評価するか？

「これは挑発であり、それにしても安っぽい挑発だ。」なぜアメリカ兵がウクライナで戦わなければならないのか理解できない。そこにはアメリカからの傭兵がいる。ほとんどの傭兵はポーランド出身で、2位は米国の傭兵、3位はジョージアの傭兵である。誰かが正規軍を派遣したいという願望を持ったら、間違いなく人類を非常に深刻な世界規模の紛争の瀬戸際に置くことになるであろう。それは明らかだ。

米国はこれを必要としているであろうか？ 何のために？ 国土からは何千キロも離れている！ 何もすることがないのか？ 国境問題、移民問題、33兆ドルを超える国債の問題など、多くの問題を抱えている。何もすることはない - ウクライナで戦う必要があるか？

ロシアと合意した方が良いのではないか？ 合意に達するには、今日進行している状況をすでに理解し、ロシアが最後まで自国の利益のために戦うことを理解し、これを理解して、実際に常識に立ち戻り、我が国、その利益、そして外観を尊重し始める。何のために、どのような解決策があるのか？ この方がはるかに賢明で合理的であるように私には思える。

— ノルド・ストリームを爆破したのは誰か？

— もちろんあなただよ（笑）。

— その日は忙しかった。ノルド・ストリームを爆破していない。

— あなた個人にはアリバイがあるかもしれないが、CIAにはそのようなアリバイはない。

— NATO または CIA がこれを行ったという証拠はあるのか？

— 詳しいことは言わないが、そういうときはいつも「興味のある人を探してください」と言われる。ただし、この場合、興味がある人だけでなく、それができる人も探す必要がある。興味がある人はたくさんいるかもしれないが、誰もがバルト海の底に登ってこの爆発を実行できるわけではないからである。これら2つの要素、つまり誰が興味を持ち、誰が興味を持てるのかを結び付ける必要がある。

「でも、よく分からない。」これは史上最大の産業テロ行為であり、さらに大気中へのCO2排出量としては最大規模である。しかし、あなたとあなたの諜報機関が証拠を持っているという事実を考慮すると、なぜそのような証拠を提示してこのプロパガンダ戦争に勝利しないのか？

- 米国は世界中のすべてのメディアと非常に多くのヨーロッパのメディアを支配しているため、プロパガンダ戦争で米国に勝つことは非常に困難である。ヨーロッパ最大のメディアの最終的な受益者はアメリカの財団である。このことを知っているか？ したがって、あなたはこの仕事に参加することができるが、彼らが言うように、それはあなた自身にとってより高価なものである。情報源を公開するだけでは成果は得られない。何が起こったのかはすでに全世界に明らかであり、アメリカのアナリストさえもそれについて直接話している。それは本当か。

- はい、しかしここで質問がある - あなたはドイツで働いていた、これはよく知られている、そしてドイツ人はNATOパートナーがこれをしたことを明確に理解している。もちろんこれはドイツ経済に打撃を与えた - ではなぜドイツ人は沈黙しているのか？ これは私を混乱させる。なぜドイツ人はこの問題について何も言わなかったのか？

- これにも驚かされる。しかし、今日のドイツの指導者たちは、国家の利益ではなく、西側の団体の利益によって導かれている。結局のところ、爆破されたのはノルド・ストリーム1だけではない。「ノルド・ストリーム2」は被害を受けたが、1本のパイプは健在で、ヨーロッパへのガス供給が可能である。準備はできています。

ポーランドにはヤマルヨーロッパと呼ばれるもう一つのルートがあり、そこにも大きな流れがある。ポーランドはこのルートを閉鎖したが、ポーランドはドイツから資金を得ており、汎欧州基金から資

金を得ている。ドイツはポーランドをある程度養っている。そして、ドイツへのルートを閉ざした。なぜか？私には理解できない。ウクライナはドイツが武器を供給し、資金を提供している。ウクライナへの資金援助において、米国に次ぐスポンサーはドイツだ。ウクライナを通るガスルートは2つある。ウクライナの人たち、彼らは単に1つのルートを閉じただけです。もう1つのルートを開ければ、ロシアからガスが供給される。彼らはそれを開けない。

いいか、君たち、我々は君たちに金と武器を与えている。頼むからバルブを外してくれ、ロシアからのガスを我々のために通してくれ。我々はヨーロッパで液化ガスを高値で買っており、これでは競争力も経済全体もゼロになってしまう。金を出せというのか？私たちを普通に存在させ、私たちの経済にお金を稼がせれば、そこからお金をあげる」。いや、そうしない。なぜか？彼らに聞いてみて欲しい（テーブルを叩く）。ここでも彼らの頭の中は同じだ。その人たちはとても無能なんだ。

ロシア大統領 V. プーチンの直通と大記者会見

ニューズウィーク アメリカ合衆国

もちろん、ジャーナリストはウラジーミル・プーチン氏にインタビューすべきだ

2024年2月7日

— おそらく、世界は現在2つの半球に分かれている。一方の半球には安価なエネルギーがあり、もう一方の半球にはそうではない。質問したい。世界は現在多極化しているが、同盟、ブロック、誰がどちらの側にいるのかについてあなたの意見を聞かせてほしい？

- 世界は2つの半球に分かれていると言ったね。一方はある活動領域を担当し、もう一方はより創造的である。しかし、それでも頭はひとつだ。世界がひとつになるには、安全保障を共通のものにする必要がある。そうすれば、世界は安定し、持続可能で、予測可能なものになる。それまでは、頭が2つに分かれている限り、それは病気であり、深刻な病気である。世界は今、重病の時期を迎えている。

しかし、誠実なジャーナリズムのおかげで、とりわけ彼ら（ジャーナリスト）が医者のように働いてくれるのおかげで、このすべてをどうにか組み合わせることができるかもしれない。

- 一例を挙げよう。アメリカのドルは、さまざまな形で全世界を団結させてきた。基軸通貨としてのドルはなくなると思うか？ 制裁は世界におけるドルの地位をどう変えたのか？

——ご存じのとおり、これは米国の政治指導部の最も重大な戦略的間違いの一つ、つまりドルを外交政策闘争の手段として利用することである。ドルは米国の力の基礎である。誰もがこれをよく理解していると思う。いくら紙幣を印刷しても、紙幣は世界中に飛んでいく。米国のインフレは最小限である。私の意見では、3%（約3.4）は米国にとって絶対に許容できる水準である。そしてもちろん、無限に印刷する。33兆の借金は何を意味するのか？これも同じ問題である。

それにもかかわらず、これは世界における米国の力を維持するための主な武器である。政治指導部がドルを政治的手段として利用することを決定すると、このアメリカの力を攻撃した。非文学的な表現は使いたくないが、これは愚かであり大きな間違いである。

世界で何が起きているか見てみよう。米国の同盟国の間でもドル準備は現在減少している。誰もが何が起きているのかを見て、自分自身を守る方法を探し始める。しかし、もし米国が一部の国に対して支払い制限や資産凍結などの制限措置を適用するならば、これは大きな警鐘であり、全世界へのシグナルとなる。

私たち（※注：ロシア）に何が起っていたのか？

2022年まで、ロシアの対外貿易における支払いの約80%はドルとユーロであった。同時に、第三国との和解の約50パーセントをドルが占めていたが、私の意見では、現在は13パーセントしか残っていない。しかし、ドルの使用を禁止したのは私たちではなく、そのために努力したわけでもない。米国はドルでの支払いを制限することを決定した。米国そのもの、米国の納税者の利益の観点からすると、それはまったくナンセンスだと思う。なぜなら、これは米国経済に打撃を与え、世界における米国の力を弱体化させるからである。

ちなみに人民元での支払いは約3%であった。現在、私たちは34パーセントをルーブルで支払い、ほぼ同じ、34パーセントを少し超える金額を人民元で支払う。

なぜ米国はこんなことをしたのか？

これは傲慢さの故だとしか思えない。全てが崩壊するだろうと思ったのだろうが、何も崩れなかった。さらに、産油国を含む他の国々は、石油の販売代金を人民元で支払うことについて話し始めており、すでに実行している。こういうことが起こっていることを理解しているのか、そうではないか。米国でこれを理解している人はいるか？ 何してる？ あなたは自分自身を剪定しているのだ...あらゆる専門家に尋ね、米国の知的で思慮深い人々に尋ねてほしい。あなたは自分でそれを殺している。

-本当に公平な評価だと思う。次の質問。ある植民地大国と別の植民地大国を交換したということか。今日のBRICSは、より優しい植民地支配国である中国に支配される危険性があるのではないか？それは主権にとって良いことだと思うか？あなたはそれを懸念するか？

「私たちはこれらの恐ろしい話をよく知っている。」 これはホラーな話である。私たちは中国の隣国である。隣人は近親者と同様に選ばれない。私たちは彼らと数千キロメートルの共通の国境を持っている。それが第一の問題である。

第二に、私たちは何世紀にもわたって一緒に暮らすことに慣れている。

第三に、中国の外交政策の哲学は非攻撃的であり、中国の外交政策の思想は常に妥協を模索しており、それが私たちにもわかる。

次のポイントはこれである。私たちはいつもそう言われているが、あなたは今この恐ろしい話を穏やかな形で表現しようとしている。それでも、それは同じ恐ろしい話である：中国との協力の量は増加している。中国とヨーロッパ間の協力の成長率は、ロシア連邦の中国との協力の成長率よりも大きく、高い。ヨーロッパ人に尋ねて欲しい：彼らは怖くないですか？おそらく彼らは恐れているだろうが、私にはわからないが、特に経済問題に直面している今、彼らはどんな犠牲を払ってでも中国市場に参入しようとしている。そして中国企業は欧州市場を開拓している。

米国における中国ビジネスの存在感は小さいのではないか？確かに、中国との協力を制限しようとするような政治的決定が行われている。タッカーさん、あなたは自分自身に不利益をもたらしているのである。中国との協力を制限するということは、あなた自身に不利益をもたらしているのである。これはデリケートな領域であり、ドルの場合と同様に、単純な直線的な解決策はない。

したがって、国連憲章の観点から見て不当な制裁を導入する前に、私たちは慎重に考える必要がある。私の意見では、意思決定をする人にはこの点で問題がある。

— 先ほどあなたは、競合する2つの同盟、つまり互いに競い合う同盟がなければ、今日の世界はもっと良い場所になるだろうと述べた。もしかしたら、あなたが言うように、あなたが信じているように、今日のアメリカの政権はあなたに反対しているかもしれないが、もしかしたら、アメリカの次の

政権、ジョー・バイデン以降の政権はあなたに手を差し伸べたいと思うかもしれない。、あなたも彼らに手を差し伸べたいと思うかないかもしれない。それとも、それは関係ないのか？

-- すぐに話すよ。しかし、先ほどの質問の続きだ。私たちは2000億ドルという目標を、私の同僚であり友人である習近平国家主席とともに設定した。そして我々はその目標を超えた。私たちのデータによれば、すでに2300億ドルであり、中国の統計によれば2400億ドルである。すべてをドルで計算すると、中国との貿易額になる。

そして非常に重要なことは、我が国の貿易額はバランスが取れており、ハイテク部門、エネルギー部門、科学開発の分野で相互に補完し合っているということである。とてもバランスが取れている。

BRICS 全体に関して言えば、今年ロシアが BRICS 議長国となったが、BRICS 諸国は非常に早いペースで発展している。

いいですか、間違いを犯さないようにしておくが、私の意見では、1992年には世界経済におけるG7諸国のシェアは47パーセントだったが、2022年にはそれを少し上回る程度に落ちた。1992年にはBRICS諸国のシェアはわずか16%だったが、現在ではG7の水準を超えている。そして、これはウクライナでのいかなる出来事とも関係がない。世界と世界経済の発展の動向は先ほど申し上げたとおりであり、これは避けられないことである。これは今後も起こり続けるであろう。太陽が昇るにつれて、それを防ぐことは不可能となり、それに適応する必要がある。

米国はどのように適応しているのか？ 武力の助けを借りて：制裁、圧力、爆撃、武力行使。これは自信過剰と関係がある。あなたの政治エリートの人々は、世界が客観的な状況によって変化していることを理解していない。そして、たとえ誰かが望んでいたとしても、失礼だが、自分のレベルを維持するために、あなたは正しい決定を適切に、時間通りに、適切に下す必要がある。支配のレベル。ロシアや他の国々との関係を含め、そのような失礼な行為は逆の結果を招くと言う。これは明白な事実であり、今日すでに明らかになっている。

あなたは今私に尋ねた：別のリーダーが来て何かを変えるであろうか？それはリーダーの問題でも、特定の人の性格の問題でもない。たとえばブッシュとは非常に良い関係を持っていた。アメリカでは彼が何も理解できない田舎者として描かれていることを私は知っている。そうではないことを保証する。彼はロシアに関しても多くの間違いを犯したと思う。私は、2008年とウクライナにおけるNATOへの扉を開くブカレストでの決定などについてお話した。これは彼にも起こった、彼はヨーロッパ人に圧力をかけた。

しかし、全体的に人間的なレベルで言えば、私は彼ととても親切で良い関係を築いていた。彼は他のアメリカ、ロシア、ヨーロッパの政治家よりも劣るものではない。保証するが、彼は他の人たちと同じように、自分が何をしているのか理解していた。

トランプと私には非常に個人的な関係があった。

それはリーダーの性格の問題ではなく、エリートたちの気分の問題である。もし、どんな犠牲を払ってでも、そして武力の助けを借りて支配するという考えがアメリカ社会に蔓延するならば、何も変わらず、状況は悪化するだけである。そして最終的に、世界が客観的な状況によって変化しており、米国が今日も持っている利点を活用して、それに間に合うように適応できなければならないという認識が得られれば、おそらく何かが変わる可能性がある。

中国経済は購買力平価の点で世界第一位の経済国となり、生産量の点では長い間米国を追い抜いている。次いでアメリカ、そして人口15億人のインド、そして日本、そして5位にロシアが続く。

過去1年間、ロシアはあらゆる制裁や制限にもかかわらず、ヨーロッパで最初の経済大国になった。これはあなたの観点から見ると普通か？制裁、制限、ドルでの支払いの不可能、SWIFTとの切り離し、石油を運ぶ我が国の船舶に対する制裁、航空機に対する制裁、あらゆる場所での制裁。世界で最も多くの制裁がロシアに対して適用されている。そしてこの間、私たちはヨーロッパで最初の経済大国になった。

米国が使用しているツールは機能していない。

- あなたはどんどん複雑な質問に私を突っ込んでくる。もちろん、それに答えるためには、大きな数字の分野、人工知能の分野の専門家でなければならない。人類には多くの脅威がある。遺伝学の研究によって、超人、つまり人間の戦士、人間の科学者、人間のアスリートといった特別な人間を作り出すことができる。現在、米国ではイーロン・マスクがすでに人間の脳にチップを埋め込んだと言われている。

。

さて、何をすべきかを考える必要がある。この認識が支配層エリートに伝わったら、そうだと、そのとき、国家の第一人者は、有権者やさまざまなレベルで意思決定を行う人々が彼に何を期待しているかを予測して行動するであろう。そうしたら何かが変わるかも知れない。

アメリカ人ジャーナリスト、タッカー・カールソン - 外国メディア、1920年、2024/02/06

フォーブス アメリカ合衆国

タッカー・カールソン氏、モスクワでウラジーミル・プーチン氏にインタビューしていることを認め、憶測の日々に終止符を打つ 2024年2月6日

— あなたは2つの異なるシステムについて説明し、指導者は有権者の利益のために行動するが、同時にいくつかの決定は支配階級によって下されると述べている。あなたは長年国を率いてきたが、その経験を踏まえて、アメリカでは誰が意思決定をするのかについてどう思うか？

- わからない。アメリカは複雑な国なので、一方では保守的だが、他方では急速に変化している。私たちにとってこれを理解するのは簡単ではない。

選挙で意思決定をするのは誰か？ 各州が独自の法律を持ち、各州が自ら規制し、州レベルで誰かが選挙から除外される可能性がある場合、これを理解することは可能だろうか。米国の大統領選挙は二段階選挙制度だが、これを理解するのは非常に困難である。もちろん、共和党と民主党という二大政党が優勢である。そして、この政党システムの枠組みの中に、意思決定を行い、決定を準備するセンターがある。

それでは、なぜ、ソ連崩壊後、ロシアに対して、このような誤った、粗暴で、全く根拠のない圧力政策が実行されたのか？ 結局のところ、これは圧力政策である。

NATOの拡大、コーカサスにおける分離主義者への支援、ミサイル防衛システムの構築、これらはすべて圧力の要素である。圧力、圧力、圧力...そしてウクライナはNATOに引き込まれた。それはすべてプレッシャーである。なぜか？

相対的に言えば、過剰な生産能力が生み出されたためでもあると思う。ソビエト連邦との戦いの間に、多くの異なるセンターが設立され、他には何もできないソビエト連邦の専門家が設立された。彼らには、政治指導部を説得しているように見えた。彼らはロシアを叩き続け、ロシアをさらに崩壊させようとし、この領土にいくつかの準国家体を創設し、分割された形で征服し、将来の戦いのためにそれらの総合的な可能性を利用しなければならない。中国と一緒に。これは、ソ連と対峙するために

働いた人々の過剰な可能性も含めて、間違いである。私たちはこれを取り除く必要がある。新しい新鮮な勢力、未来に目を向け、世界で何が起きているのかを理解する人々が必要である。

インドネシアがどのように発展しているかを見てみよう！6億人。どこでこの状況から逃れられるか？どこにもない。私たちは、インドネシアが、それがどのようなものであれ、誰かが好むと好まざるとにかかわらず、世界の主要経済国のクラブに加わるだろう、そしてすでに加わりつつあると想定する必要がある。

はい、私たちは、あらゆる経済問題にもかかわらず、米国では依然として正常な状況とまともな経済成長、私の意見では2.5%のGDP成長があることを理解し、認識している。

しかし、将来を確実にするのであれば、変化しているものに対するアプローチを変える必要がある。すでに述べたように、ウクライナでの出来事がどう終わろうとも、世界は依然として変化するだろう。世界は変わりつつある。アメリカ自体では、専門家はアメリカが世界の中での立場を徐々に変えつつあると書いている - あなた方の専門家自身が書いており、私もそれを読んだ。唯一の問題は、これがどのように起こるかということである。痛みを伴うように、急速に、それとも穏やかに、徐々にか？そして、これは反米ではない人々によって書かれている。彼らは単に世界の発展傾向に従っているだけである。それだけである。政策を評価し、政策を変更するには、政治的リーダーシップのレベルで考え、将来を見据え、分析し、決定を推奨できる人材が必要である。

- 尋ねなければならない。あなたは、NATOの拡大は約束違反であり、あなたの国にとって脅威であると明確に言った。しかし、あなたがウクライナに軍隊を派兵する前に、安全保障会議で、アメリカ副大統領は、NATOに加盟したいというウクライナ大統領の願望を支持した。これも敵対心を引き起こしたと思うか？

「もう一度繰り返すが、私たちは2014年のクーデター後にウクライナで生じた問題を平和的手段で解決することを繰り返し提案してきた。しかし誰も私たちの言うことを聞かなかった。そしてさらに、米国の完全な支配下にあったウクライナ指導部は、ミンスク合意を履行しないことを突然発表し、ミンスク合意は何も気に入らないとして、この地域で軍事活動を継続した。それと並行して、この領土は、要員の訓練と再訓練のためのさまざまなセンターを装って、NATO軍事組織によって開発された。彼らは基本的にそこに基地を作り始めました。それだけである。

ウクライナでは、ロシアは非称号国家であると発表し、同時に非称号国家の権利を制限する法律を可決した。ウクライナは、これらすべての南東部領土をロシア国民からの贈り物として受け取ったが、突然、この領土のロシア人は非称号国家であると発表した。大丈夫？これらすべてが合わさって、2014年にウクライナでネオナチによって武力手段によって開始された戦争を終わらせるという決定につながった。

——ゼレンスキー大統領にはこの紛争の解決について交渉する自由があると思うか？

- わからない。もちろん細かい点はあるが、私には判断が難しい。しかし、いずれにせよ、これは事実であったと思う。彼の父親は第二次世界大戦中にファシスト、ナチスと戦った。私はかつて彼にこのことについて話した。「ヴォロディア、あなたは何をしているのか？あなたの父親がファシズムと戦ったのに、なぜ今日ウクライナでネオナチを支援するのか？彼は最前線の兵士である。」と私は言った。彼が何と答えたかは言わない。これは別の話題だし、それは間違っていると思う。

しかし、選択の自由については、なぜそうではないのか？彼はウクライナを平和に導くというウクライナ国民の期待に基づいて権力を握った。彼はこれについて話した - このおかげで、彼は選挙に大きなアドバンテージを持って勝利した。しかしその後、私が権力を握ったとき、私の意見では、2つのこ

とに気づいた。第一に、ネオナチや国家主義者とは口論しないほうがいい。彼らは攻撃的で非常に活発なので、彼らからは何も期待できない。そして第二に、米国主導の西側諸国は、ロシアと戦う人々を常に支援するだろう。これは利益があり、安全である。そのため、ウクライナ戦争を終わらせると国民に約束したにもかかわらず、彼は相応の立場を取った。彼は有権者を騙した。

— 2024年2月の今、彼には政府と話し合っ、なんとか国を助けようとする自由があると思うか?彼は自分でもそれができるか?

- なぜだめか?彼は自分を国家元首だと考えており、選挙に勝った。私たちロシア人は、2014年以降に起こったことはすべてクーデターであると信じていたが、主な権力の源はクーデターであり、この意味では今日の政府にも欠陥がある。しかし、彼は自分自身を大統領と考えており、この立場において彼は米国、ヨーロッパ全土、そしてその他のほぼ全世界から認められている。なぜだめか?彼ならできる。

我々はイスタンブールでウクライナと交渉しており、合意していたのだが、彼はそれを知っていた。さらに、交渉グループのトップであるアラハミー氏は、たしか彼の名前だったと思うが、今でも与野の派閥のトップである。また、この国の議会でも、彼はいまだに大統領派を率いており、そこに座っている。この文書にも署名している。私たちはこの文書に署名する準備ができていたが、当時の英国首相ジョンソン氏がやってきて、ロシアと戦争したほうがいいと言って、私たちを説得した。ロシアとの戦いで失ったものを取り戻すために必要なものはすべて与えてくれる。そして我々はこの提案に同意した」。いいか、彼の声明は公表された。彼は公言した。

彼らは戻れるのか、戻れないのか。それが問題なのだ。その後、ウクライナ大統領は我々との交渉を禁止する政令を出した。この政令を取り消させてほしい、それだけだ。我々は交渉を拒否したことはない。ロシアは準備ができているのか?我々は拒否していない!彼らは公然と拒否したのだ。では、勅令を取り消して交渉させればいい。我々は決して拒否していない。

ジョンソン前英国首相の要求や説得に応じたという事実は、私は馬鹿げていると思うし、とても悲しいことだと思う。なぜなら、アラハミー氏が言ったように、「私たちは1年半前にこの敵対行為を止め、この戦争を止めることができたのに、英国に説得され、それを拒否した」からだ。ジョンソン氏は今どこにいるのか?そして戦争は続いている。

ノルドストリーム2ガスパイプラインの漏れ箇所

責任ある国家戦略 アメリカ合衆国

スウェーデンはノルドストリームの調査を終了し、ドイツにバトンを渡した

2024年2月8日

-- いい質問だ。なぜ彼はそれをしたのか?

- 知るか、知るか。一般的な態度はこうだった。なぜか誰もが、ロシアは戦場で打ち負かすことができるという幻想を抱いていた--傲慢さから、純粋な心から、しかし偉大な知性からではなかった。

- あなたはロシアとウクライナのつながりを説明し、ロシアについて、正統派の国であることを説明した。それはあなたにとってどういう意味か?あなたはキリスト教国の指導者である。それはあなたにどのような影響を与えるか?

- すでに述べたように、988年にウラジーミル王子が洗礼を受け、彼自身も祖母のオルガ王女に倣って洗礼を受け、その後、従者に洗礼を施し、数年かけて徐々にロシア全土に洗礼を施した。異教徒からキリスト教徒になるには長い年月がかかった。しかし最終的に、この正教、東方キリスト教はロシア

国民の意識に深く根付いた。

- 異教徒からキリスト教徒になるまで、何年もかかった。しかし結局のところ、これは正教、東方キリスト教であり、ロシア国民の意識に深く根ざしている。

ロシアがイスラム教、仏教、ユダヤ教を信仰する他の民族を拡大・吸収したとき、ロシアは他の宗教を信仰する人々に対して常に非常に忠実であった。これがロシアの強さだ。これは完全に明らかである。

そして事実は、私が今話した、ロシア連邦の伝統的な宗教であるすべての世界の宗教では、実際、主要な理論、主要な価値観は、同じではないにしても、非常に似ている。そしてロシア当局は、ロシア帝国に入ってきた人々の文化と宗教について常に細心の注意を払ってきた。私の意見では、これがロシア国家の安全と安定の基礎を形成している。なぜなら、ロシアに住むすべての民族は基本的にロシアを祖国と考えているからである。

たとえば、人々がラテンアメリカやヨーロッパからあなたのもとへ移住する場合、これはさらに明確でわかりやすい例だが、人々はやって来るが、彼らは歴史的な故郷からあなたやヨーロッパ諸国へもやって来る。そして、ロシアでさまざまな宗教を信仰する人々は、ロシアを祖国と考えている。彼らには他に祖国はない。私たちは一緒にいる、これは一つの大きな家族である。そして私たちの伝統的な価値観は非常に似ている。「これは大きな家族だ」と言ったが、誰もがそれぞれの家族を持っており、それが私たちの社会の基盤である。そして、祖国と特定の家族が非常に結びついていると言えば、その通りである。なぜなら、私たちが国全体、祖国に正常で持続可能な未来を提供しなければ、私たちの子供たちと私たちの家族に正常な未来を保証することは不可能だからである。ロシアで愛国心がこれほど発達しているのはそのためだ。

-- 宗教は違う。キリスト教は非暴力の宗教であり、キリストは「もう一方の頬を向けよ」、「殺すな」と言っている。しかし、もし誰かを殺さなければならないなら、指導者はどうしてクリスチャンになれるのでしょうか？自分の中でどう折り合いをつけるのか？

— 自分自身と家族、祖国を守ることはとても簡単である。私たちは誰も攻撃しない。ウクライナでの出来事はどのように始まったのか？クーデターとドンバスでの敵対行為の始まり以来、それが始まりであった。そして私たちは人々、私たち自身、祖国、そして私たちの未来を守る。

宗教全般に関して言えば、ご存知のとおり、それは外面的な現れに関するものではなく、毎日教会に行くとか、床に頭をぶつけることに関するものでもない。彼女は心の中にいる。そして私たちには人間中心の文化がある。ロシア文化、ロシア文学の天才として西側ではよく知られているドストエフスキーは、ロシアの魂について多くのことを語った。

結局のところ、西洋社会はより現実的なのだ。ロシア人は、ロシア人はもっと永遠について考え、もっと道徳的価値について考える。西洋文化はより現実的だ。私はこれが悪いことだと言っているのではないし、そのおかげで今日の「黄金の10億人」は、生産においても、科学においても、良い進歩を遂げることができるのだ。私たちは同じように見えるが、意識は微妙に違うと言いたいだけだ。

— では、超自然的な何かが働いていると？世界で起きていることを見ると、神の御業が見えるだろうか？何か超人的な力が働いているように見えると言うのか？

- いいえ、正直に言うとそうは思わない。私は、世界社会は独自の内部法に従って発展しており、それがそのようなものであると考えている。これから逃れることはできず、人類の歴史において常にこの状況であった。一部の民族や国は台頭し、増殖し、より強くなり、その後、慣れ親しんだ状態のまま

国際舞台から去っていった。おそらくこれらの例を挙げる必要はないだろう。同じ大群の征服者から始まり、チンギス・ハーン、次に黄金の大群、そして偉大なローマ帝国で終わる。人類の歴史の中で、偉大なローマ帝国のようなものは他になかったように思われる。

それにもかかわらず、野蛮人の可能性は徐々に蓄積され、彼らの打撃の下でローマ帝国は崩壊した。より多くの野蛮人がいたため、彼らは一般的に順調に発展し始め、今言うように、経済的に強化され始めた。そして偉大なローマ帝国が世界に押し付けた体制は崩壊した。確かに、崩壊には長い時間がかかった。

- 500年; この偉大なローマ帝国の崩壊のプロセスは500年続いた。今日の状況との違いは、今日の変化のプロセスが偉大なローマ帝国の時代よりもはるかに速いということである。

- しかし、AI、つまり人工知能の帝国はいつ始まるのか？

「あなたは私にますます複雑な質問を投げかける。」 答えるためには、もちろん、この人工知能の分野における大数の分野の専門家でなければならない。

人類には多くの脅威がある。遺伝子分野の研究はスーパーマンや特別な人物、つまり人間の戦士、人間の科学者、人間のアスリートを生み出す可能性がある。今、アメリカではイーロン・マスクがすでに誰かの脳にチップを埋め込んだと言われている。

人工知能 - InoSML、1920年、2024年2月4日

ASASメディア レバノン 2024年に77か国で行われる選挙: 人工知能は選挙に勝つであろう? 2024年2月4日

- どう思うか？

「マスク氏を止めるのは不可能だと思う。彼は今後も自分が適切だと思うことをするであろう。」しかし、私たちは何らかの方法で彼と交渉する必要がある、彼を説得する方法を探さなければならない。彼は知的な人であるように私には思える、つまり彼は知的な人であると確信している。私たちは、このプロセスをいくつかの規則に従って正規化する必要があるという点で、何らかの方法で彼に同意する必要がある。

もちろん、人類は、遺伝子学や人工知能におけるこれらの最新の研究や技術の発展に関連して、自分たちに何が起こるかを考えなければならない。何が起こるかを大まかに予測できる。したがって、人類が核兵器によって生存の脅威を感じたとき、核兵器の不用意な使用が完全な破壊につながる可能性があることを理解していたため、核兵器の所有者全員が相互に交渉を始めた。

人工知能や遺伝子学、あるいはその他の現代の傾向の無制限かつ制御不能な発展が止められないという理解が得られたとしても、火薬の正体を人類から隠すことが不可能だったのと同じように、こうした研究は依然として行われるだろう。ある分野や別の分野での研究を止めることは不可能であり、この研究は今後も行われるだろうが、人類が自分自身、そして人類全体に対して脅威を感じたとき、私には、どのように我々が研究を行うかについて国間レベルで合意が得られる時期が来るように思われる。これを規制することになる。

—貴重なお時間を割いていただき、誠にありがとうございました。もう一つ質問したいのだが、エヴァン・ガーシュコビッチ、彼は32歳、アメリカ人ジャーナリスト、彼は1年以上（ロシアの）刑務所に服役しており、これはアメリカで大きな話題になっている。あなたに聞きたいのだが、善意のしるしとして、私たちが彼を米国に連れて行けるように彼を解放する準備はできているか？

「私たちはあまりにも多くの善意の行動をしてきたので、限界をすべて使い果たしたように思える。」 私たちの善意のジェスチャーに同様のジェスチャーで応えた人は誰もいない。しかし、私たちは原則として、パートナーからの反対運動によってこれを行う可能性を排除しないと言う用意がある。

私が「パートナー」と言うときは、主に特別サービスの代表者を意味する。彼らは互いに連絡を取り合っており、この話題について話し合っているこの問題を解決しないことにタブーはない。私たちはそれを解決する準備ができていますが、諜報機関間のパートナーチャンネルを通じて話し合う特定の条件がある。これについては同意できるように思える。

- もちろん、すべては何世紀にもわたって起こる - 国はスパイを捕まえ、拘留し、その後誰かと交換する。もちろん、これは私には関係ないが、この人物は決してスパイではなく、ただの子供であるという点で、この状況は異なる。そしてもちろん、彼はあなたの法律に違反したかもしれないが、彼はスパイではないし、間違いなくスパイではない。おそらく彼はまだ違うカテゴリーにいるか？おそらく、それと引き換えに他の人に頼むのは不公平ではないか？

- 何がスパイで何がスパイではないかについては、好きなように言うことができるが、法律で定められていることがいくつかある。人が機密情報を受け取り、それを秘密裏に行う場合、これはスパイ活動と呼ばれる。これはまさに彼がやったことである。彼は非公開の機密情報を受け取り、それを秘密裏に実行した。わからないが、おそらく彼は引き込まれたのかもしれない。誰かが彼をこの問題に引き込んだのかもしれない。

おそらく彼はすべてを自分の意志で不用意にやったのかもしれない。しかし実際には、これはスパイ活動と呼ばれる。そして、この情報を受け取ったときに彼は現行犯で捕まったので、すべてが証明された。これらが、でっち上げられた、証明されていない突飛なものであれば、話は別になる。彼は秘密裏に機密情報を入手したとして現行犯で捕まった。さて、それは何か？

「あなたは彼がアメリカ政府やNATOのために働いていたと言っているのか、それとも彼の手に渡るべきではない情報を受け取った単なるジャーナリストなのか？」この2つのカテゴリーの間にはまだ違いがあるように思える。

- 彼が誰の下で働いていたのか知らない。しかし、もう一度繰り返すが、秘密裏に機密情報を入手することはスパイ活動と呼ばれ、彼はアメリカ諜報機関やその他の組織の利益のために働いていた。彼がモナコで働いていたとは思えない。モナコがこの情報を受け取ることに興味があるとは考えにくい。諜報機関同士で合意に達する必要がある、わかるか？そこには特定の進展があり、私たちの意見では、特別なサービスに関係していない人々もいる。

聞いてください、アメリカの同盟国であるある国に、愛国的な理由からヨーロッパの首都の一つで盗賊を排除した男が座っている。コーカサスでの出来事の間、彼[山賊]が何をしたか知っているか？言いたくないけど、とにかく言うておく。彼は捕らえた兵士たちを道路に並べ、彼らの頭上を車で追いつ越した。これは一体どんな人か？しかし、ヨーロッパの首都の一つで彼を排除した愛国者がいた。彼がそれを自発的にやったかどうかは別の問題である。

「エヴァン・ガーシュコビッチはそのようなことは何もしていない。それはまったく別の話である。」

- 彼は何か他のことをした。

- 彼はただのジャーナリストである。

- もう一度繰り返すが、彼は単なるジャーナリストではない。極秘情報を極秘に入手したジャーナリストだ。そうですね、それはまったく別の話である。

私が話しているのは、刑務所のどこにいても実際には米国当局の管理下にあり、情報機関の間で対話が行われている人々のことである。これは静かに、冷静に、専門的なレベルで解決されるべきである。連絡先があり、接触はある。

あなたが言及した人物、ゲルシュコビッチ氏が祖国に行く可能性を私は排除しない。なぜだめですか？多かれ少なかれ彼をロシアで刑務所に閉じ込めておくのは意味がない。しかし、アメリカ側の諜報員の同僚たちにも、我が国の諜報機関が直面している問題を解決する方法を考えてもらおう。私たちは交渉を受け付けていないわけではない。また、この交渉は現在も継続中であり、合意に達した例も数多くある。私たちは今すぐに合意に達することができるが、あとは交渉するだけである。

- 彼を解放してくれることを願っています。大統領、どうもありがとうございました。

「私も彼には最終的には家に帰ってもらいたいと思っています。」 私はこれを心からそして完全に。しかし、繰り返すが、対話は進行中である。このようなことを公表すればするほど、解決は困難になる。すべてが穏やかでなければならない。

ウォール・ストリート・ジャーナルのジャーナリスト、エヴァン・ガーシュコビッチ事件の法廷審問 - InoSMI、1920年、2023年8月26日

InoSMI ロシア

ジャーナリストのガーシュコビッチ氏の弁護士が逮捕の司法延長を訴えた

2023/08/26

——正直、戦争に関しては、うまくいくかどうかはわからない。お許しいただければ、もう一つ質問させていただきたい。戦略的な理由から答えたくないのかもしれないが、ウクライナで起こっていることが、もっと大きな、もっと悪いことにつながる可能性があるのではないかと心配していないか？そして、あなたはどのくらい準備ができていますか、たとえばアメリカに電話して「交渉しましょう」という意欲はあるか？

- 聞いてください、私はすでに述べた。私たちは交渉を拒否していない。私たちは拒否しない。これは西側であり、もちろんウクライナは今日米国の衛星国である。それは明らかだ。確かに、これが誰かに対するある種の呪いや侮辱のように聞こえたくないのだが、何が起きているのかは理解している。

720億ドルの財政支援が行われ、ドイツは2位、他のヨーロッパ諸国は数百億ドルがウクライナに流れている。大量の武器が流入している。

今日のウクライナの指導者たちに伝えて欲しい。聞いて欲しい、座って交渉しよう、あなたの愚かな法令や法令を取り消して、座って話しよう。私たちは拒否しない。

- はい、あなたはすでにこれを言われました。もちろん、これが呪いではないことは十分に理解している。実際、ワシントンの命令に従って行動していた元英国首相の命令により、ウクライナが和平調印を阻止されたと報じられている。だからこそ私は尋ねる、なぜウクライナのゼレンスキー政権を支配するバイデン政権とこれらの問題を直接解決しないのか。

——ウクライナのゼレンスキー政権が交渉を拒否したとすれば、ワシントンからの指示に基づいてそうしたのだと私は推測する。さて、ワシントンでこれが間違った決定であるとわかったら、それを放棄し、誰にも不快にさせない微妙な言い訳を見つけて、この解決策を見つけてもらおう。私たちがこれらの決定を下したのではなく、たとえ彼らが拒否したとしても、彼らが決定を下したのである。それだけだ。

しかし、彼らは間違った決断を下した。今、私たちはこの間違った決断から抜け出す方法を探し、尻尾を立てて彼らの間違いを正さなければならないが？彼らはそれをやった、彼らに修正させた。私たちはそれに賛成である。

- 私があなたのことを正しく理解していることを確認したい。つまり、現在ウクライナで起こっていることについて交渉による解決を達成したいということですね？

- 右。しかし、私たちはこれを達成し、イスタンブールでウクライナ代表団長が署名した大規模な文書を作成した。彼の署名はこの契約書の抜粋にある。すべてではなく、抜粋にある。「私たちは署名する準備ができていましたし、戦争はずっと前、1年半前に終わっていたはずである。しかし、ジョンソン氏がやって来て、私たちに戦争からやめるよう説得してきました。そして、私たちはそれを逃したのです」と彼は署名した。このチャンス。」まあ、彼らはそれを見逃した、間違いを犯しました - 彼らに戻ってもらう、それだけである。しかし、なぜ私たちは誰かの間違いを大騒ぎして正す必要があるのでしょうか？

私たちが行動を強化し、武器の助けを借りて、先ほども言ったように、2014年にドンバスで始まったこの戦争を終わらせることを決定したのは私たちの間違いであると言えます。しかし、私はあなたをさらに深く戻します。これについてはすでに話しました、あなたと私はちょうどこれについて話したところである。次に、NATOを拡大しないと約束された1991年に戻りましょう。NATOへの門が開かれた2008年に戻りましょう。中立国を宣言したウクライナ独立宣言に戻りましょう。NATOの基地、アメリカの基地、そしてイギリスの基地がウクライナ領土に現れ始め、私たちにこれらの脅威をもたらしたという事実に戻りましょう。2014年にウクライナでクーデターが発生したという事実に戻りましょう。無意味ですよ？このボールを無限に前後に転がすことができます。しかし、彼らは交渉を中止した。エラー？はい。修理する。私たちは準備ができています。ほかに何か？

- NATOが2年前にウクライナ領だった場所をロシアが支配していることを認めるのは、あまりにも屈辱的だと思わないか？

- そして、どうすれば堂々とできるかを考えさせようと言ったんだ。選択肢はあるけど、もし望みがあるならね。

これまで、彼らは騒ぎ立て、叫んでいた：ロシアの戦略的敗北、戦場での敗北を達成する必要がある...しかし今、明らかに、これはたとえ可能だったとしても簡単ではないという認識が生じている。私の意見では、これは定義上不可能であり、決して起こらない。今、西側諸国の権力を掌握している人々もこのことに気づいているように思える。しかし、もしそうであれば、そしてこの認識が得られたのであれば、次に何をすべきかを考えて欲しい。私たちはこの対話の準備ができています。

——例えばNATOに対して、「おめでとう、あなたは勝ちました、このままの状況を維持しましょう」とう準備はできているか。

- ご存知のとおり、これは誰も私たちと交渉したくない交渉の主題である。より正確に言えば、彼らはそうしたいと思っているが、方法がわからない。私は彼らが何を望んでいるのか知っている - 私はそれを見るだけでなく、彼らが何を望んでいるのかも知っているが、彼らはそれを行う方法を理解でき

ない。私たちはそれを考え、私たちが置かれている状況にそれを持ち込んだ。これを引き起こしたのは私たちではなく、私たちの「パートナー」と敵対者である。さて、今度は逆の方向に進む方法を考えてもらおう。私たちは拒否しない。

そんなに悲しくなかったら面白いのに。ウクライナでの際限のない動員、ヒステリー、国内問題、これらすべて...いずれにしても、私たちは遅かれ早かれ合意に達するであろう。そして、何だと思うか？今日の状況では奇妙に聞こえるかもしれないが、いずれにしても民族間の関係は回復する。時間はかかるが必ず回復する。

珍しい例をいくつか紹介する。戦場では衝突があ。具体的な例である。ウクライナの兵士が包囲されている。これは人生、軍事作戦からの具体的な例である。私たちの兵士は彼らにこう叫ぶ。降伏！すると突然、彼らはそこからロシア語で、上手なロシア語で「ロシア人は諦めない！」と叫んだ。-そして全員が死んだ。彼らはまだロシア人だと感じている。

この意味で、現在起こっていることは、ある意味、内戦の要素である。そして西側諸国の誰もが、この戦闘によってロシア国民の一部が他の部分から永久に引き離されたと考えている。いいえ。再会は起こるだろう。それはどこにも行っていない。

なぜウクライナ当局はロシア正教会を取り上げるのか？ なぜなら、それは領域ではなく魂を結びつけるものであり、誰もそれを分割することはできないからである。

もう終わりにしよう、それとも何か別のことをしようか？

「それでは、私にあるのはそれだけです。」大統領、どうもありがとうございました。

翻訳終わり